買い物環境等に関する アンケート調査報告

伊那市社会福祉協議会 総務課 地域福祉係 平成27年7月

目次

(1) (2) (3) (4)	間査概要 調査目的 調査地区 調査概要 調査項目 買い物弱者の支援策		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
2、フ	アンケート調査の要旨		•	•	•		•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	4
(1)	買い物弱者支援について 買い物弱者の定義 買い物弱者が増加する?	背鲁	·	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
4、買	買い物弱者支援の必要性 買い物弱者支援の方向性	,	•	•			•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			6
	アンケート調査結果 単集計		•	•	•		•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•		•	•		•		•	8
①買 ②和 ③型	聞き取り調査 買い物における不便、不算 お望するサービス 見在の支援サービス、買い この他		勿	方	法				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	2	4 5
	地域別集計	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•		2	
	・南福地区	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	0
	F良地区 ・八ツ手区	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	3
	西箕輪地区 ・ 与地区	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3	6
•	高遠町地区 ・三義区 	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		3	
	・ 藤沢区	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	
	長谷地区 ・黒河内区、市野瀬区	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	7
7、7	アンケート	•	•	•			•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•			•		•		5	О

1、調查概要

(1)調査の目的

身近な商店の撤退や路線バスの廃止などにより、日常の買い物や、生活に必要なサービスを受けることが困難になっている"買い物弱者"は、高齢者を中心に全国で600万人にも及ぶと推計されています。

本市においても、買い物弱者の支援は、高齢者が地域で暮らし続けるために欠かせない課題となっており、社協の第2次伊那市地域福祉活動計画(H26~30年度)において、平成28年度から具体的なサービス(モデル事業)を展開することを目標としています。

そこで、地域の高齢者世帯を対象に、買物をする場所や方法、困りごと等について調査し、それぞれの地域に相応しい買い物弱者支援の方向性を探ります。

(2) 調查地区

高齢者世帯率が30%を越えている地域の内、近隣に生活物資全般を取り扱う商店等がない地区を対象とします。

			는 사 사	***	л. <i>Ф</i> . Ш.	出来た	V 111'	古典	小龙	≅	
	調	查地区	局断	i看の#	タの世		全世	高齢	12学	調査	回答数
	Η/Н).	重地区	1人	2人	3人~	計	帯数	世帯比率	人口比率	世帯数	四百级
		①上新山	23	22	2	47	138	34.1%	38.5%	9	8
富	県	②北新	14	18	1	33	99	33.3%	35.5%	7	3
		③南福地	21	26	2	49	149	32.9%	36.8%	10	10
手	良	④八ツ手	21	17	2	40	126	31.7%	35.8%	8	8
西	箕 輪	⑤与地	18	13	2	33	112	29.5%	33.6%	7	7
高	遠町	⑥三義	37	25		62	137	45.3%	43.2%	12	9
向	逐 町	⑦藤沢	74	69	3	146	358	40.8%	46.0%	29	27
長	谷	⑧黒河内	7	12		19	60	31.7%	39.2%	4	4
区	甘	⑨市野瀬	19	23		42	92	45.7%	47.1%	8	8
		94	84								

(H26年6月)

(3)調查概要

調査時期: 平成27年4月~6月

調査方法: 社協職員による家庭訪問調査調査対象: 65歳以上の高齢者のみの世帯

抽出方法: 民生児童委員に、調査に協力していただけそうな世帯を紹介していただく

調 査 数: 目安として高齢者のみの世帯の20% (全体で94世帯)

広 報:「ふくし伊那」市報4月号、社協HP等で調査の実施について広報

(4)調查項目

調査項目は、平成22年9月に長野県商工労働部産業政策課が実施した「買物環境等に関するアンケート」(無作為抽出した県内6,000人の高齢者に実施)と同じ内容とする。

◆回答者について

(問1) 年齢

(問2) 性別

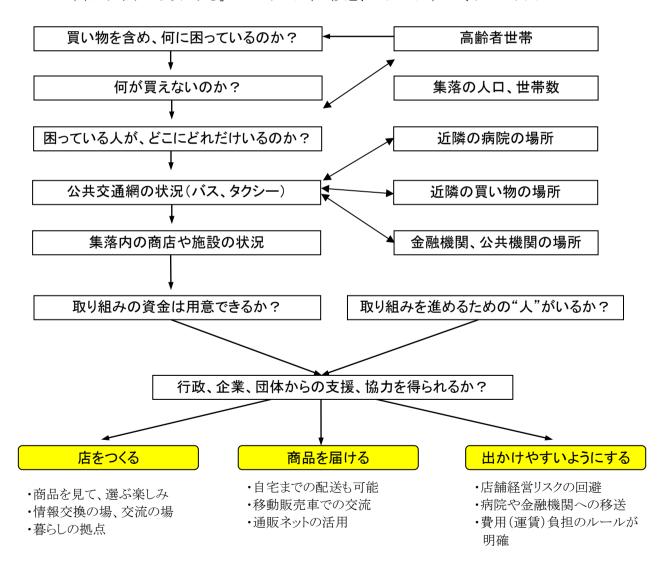
(問3) 住まいの形態

(問4) 自動車の運転

- ◆食料品等の買物について
 - (問5) 普段買物に行く人
 - (問6) 買物の頻度
 - (問7) 生鮮食品を売っている一番近い店とそこまでの距離
 - (問8) 一番近い店を利用する又は利用しない理由
 - (問9) 一番よく利用する店とそこまでの距離、移動手段
 - (問10) 買物支援サービスの内容とその満足度
 - (問11) 買物で不便に感じていること
 - (問12) 買物環境の改善のために必要なこと
 - (間13) 今後の商店街の必要性
 - ◆普段の食事について
 - (問14) 食品郡別の摂取状況
 - ◆買物環境についての意見・要望

(5) 買い物弱者の支援策

- ・「店をつくる」
- …共同壳店、経営委託、巡回販売店
- 「商品を届ける」
- …移動販売車、宅配、共同購入
- ・「出かけやすいようにする」 …ボランティア移送、コミュニティバス、デマンドタクシー



2、アンケート調査結果の要旨

(1) 実態

①自動車の運転

車の運転ができない (※しない・免許がない) 割合は、一人暮らしである方が高くなる

- ・一人暮らし世帯…78.4%
- ・夫婦のみ世帯… 33.3%

また、女性の「免許なし」の割合は 71.2%、 男性は 11%で、女性である方が買い物弱者 になる可能性が高い。

②買い物の頻度

全体の 75%が買い物の頻度は週に1回、またはそれ以下 (※行かない、月に1回、月に2回など)

- ・一人暮らし世帯…82.3%
- ・夫婦のみ世帯… 62.9%

高齢者の一人暮らし世帯で特に女性の場合は、自ら自動車で買い物に行くことができず、買い物頻度が少なくなる可能性が高い。

(2) 買い物について

①最寄りの店より、離れたスーパーを利用

- ・全体の 64.3%が「自宅から一番近い店」を利用 しない。
- ・しかし普段買い物をしている 93.6%が 5km以上離れたスーパーで買い物をしている。
- ・71.4%が移動手段として「自動車」を利用している(自らもしくは家族等の送迎)
- ・行き慣れた店に行く、特売日の商品を選ぶ、他 の商業施設に行くなど、買い物自体を楽しむ。 /

②距離に不便さを感じている

- ・「家の近くでないと移動販売が来ても商店ができても行けない。」という回答が多く、アクセスの良さを求めている。
- ・車の運転ができない回答者は、家族等の送迎に よって買い物をする、宅配サービスなどを利用す るなど、買い物手段を確保している。
- ・全体の50%が買い物の不便さを感じている。
- ・通院の不便さを訴える回答者もいた。

(3) 地域全体の課題

閉塞感と孤独感を感じている

- 人口減少や担い手不足に対して不安を感じている。
- 「何をしても良くならない」という閉塞感を持つ回答者が多い。
- ・近所同士のつながりはあるものの、日常生活の中で話すきっかけが欲しいと感じている。

(4) 地域別の課題

①富県上新山区・北新区	外出のしにくさを感じている。新山地域独自のまとまりを活かせないか。
②富県南福地区	移動販売の希望が多い。地域の拠点づくりが必要。
③手良八ツ手区	現在ある個人商店の発展強化など。 (交流スペース、惣菜配達など)
④西箕輪与地区	地区の将来に不安。小人数サロンのような居場所づくり。
⑤高遠町三義区	買い物と通院の不便さが顕著。交流の機会が必要。
⑥高遠町藤沢区	買い物機能に付随した交流の機会や拠点づくりが必要。
⑦長谷黒河内区•市野瀬区	「誰かと話したい」というニーズ。移動販売とサロン活動など

3、買い物弱者支援について

(1) 買い物弱者の定義

①経済産業省

食品や日用品などの生活必需品の買物へのアクセスが悪くなったり、高齢化などを理由に身体的な問題で外出することが困難であったりすることで、買物に不便や苦痛を感じている人たち。 (2012年 経済産業省 「農山漁村の買物支援マニュアル」より)

②長野県

「買物に不便を感じている」者を「広義の高齢買物弱者」と位置付け、さらにその中で以下 の3項目全てに該当する者を、「高齢買物弱者」と位置付けた。

- ①商店が近く(500m以内)にない
- ②徒歩・自動車で買物に行けない
- ③自動車を運転できない(しない)

(2012年 長野県産業労働部 「生活必需品買物環境実態調査報告書」より)

③伊那市社会福祉協議会

「買い物」とは、生活に必要な日用品や生鮮食料を、過不足なく購入できることと定義し、 以下の①②および③にあてはまる人を「買い物弱者」と定義します。

- ①買い物をするために、自力で商店等へ行けない人で、訪問介護などの支援を受けることができない人
- ②徒歩、もしくは公共交通機関等を使っても、簡便に買い物ができない地域に居住して いる車等の移動手段が使えない人
- ③現在、買い物に関する支援を受けているが、条件が合えば自力で買い物ができる人

(2) 買い物弱者が増加する背景

経済産業省では、以下の5つを買い物弱者問題の原因としてあげている。

- ①人口減少と少子高齢化によって、立ち行かなくなった店舗が閉鎖
- ②旅客運送事業の撤退規制緩和による交通機関の撤退・廃業
- ③規制撤退による郊外への大型店舗の出店
- ④市町村合併による行政のスリム化、JA などの機関の統廃合
- ⑤過疎化によって立ち行かなくなった店舗や、店主が高齢化したことによる商店の閉鎖や撤退 (2012年 経済産業省 「農山漁村の買物支援マニュアル」より)

さらに、以下2つの点が考えられる。

- ⑥高齢化による免許の返納や、身体・精神的な老化などから、運転できない人が増加
- (7)家族形態の変化による独居者の増加

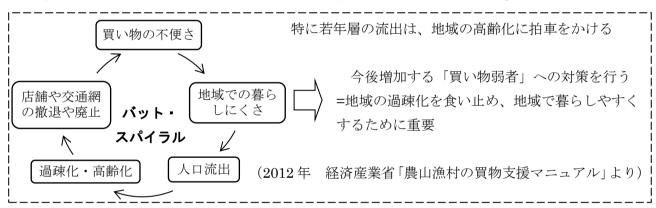
(独居高齢者が増加し、買い物を代行したり、店舗への送迎してもらえる家族がいない。また、買ったものを運んでくれる人がいないため、重いものを持って帰ることが困難になっている。)

伊那市では、市内スーパーの増加、過疎化による利用客の減少、店主の高齢化などにより、地域に密着した個人商店(生鮮食品を扱う店に限らない)が閉鎖されている。このような店は、購買機能のみならず、地域コミュニティの拠点である。さらに各地区のJAの撤退、単身世帯の増加など、上記の実態は例外ではない。

このような要因から、過疎地問わず市内全体に「買い物の不便さ」を感じる住民の増加が予想される。

4、買い物弱者支援の必要性

経済産業省は、大型店の売り場面積の拡大と売り場面積の少ない商店の減少、高齢者の割合の増加などから、今後も買い物弱者は増加していくと報告している。そして、買い物は地域の暮らしに必要不可欠とし、買い物に困っている人々への対策の重要性を以下のようにまとめている。



人口減少は地域力の低下を招き、地域コミュニティが衰退する。買い物支援に限らず、あらゆる面から地域づくりを進めることは、生活を豊かにするために必要である。

5、買い物弱者支援の方向性

以下の項目を満たしつつ、長期的な視点での取組みが必要となる。

- I 「購入代行」支援ではなく「できる限り自分で買い物できる」支援が必要
- Ⅱ 住民の力や地元商工会等の活用
- Ⅲ 地域づくりの視点での取り組み
- IV 複合的な視点での取り組み

(1) 目的:地域生活を豊かなものにするため → 地域づくりの視点での取り組み

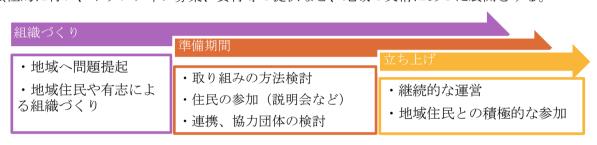
伊那市社協は、「買い物弱者」という枠に限定せず、地域づくりの視点で買い物支援の方法を検討する。買い物弱者支援の方法は移動販売や商店を作る等の方法が考えられるが、単に買い物やアクセスのしやすさを支援するのではなく、地域コミュニティの持続ための方法として買い物支援を行う。

(2) 実施主体:地域住民

実施主体は地域住民である。買い物弱者への対策は、利益性を出すことは困難であり、行政が主導する場合も継続性を保つことができない。その地域に住む住民が、あらゆる社会資源を活用し、支え合いを基軸として自らの地域のために取り組むことが重要と考える。

(3) 展開方法

①地域課題を住民に問題提起。問題意識に対して取り組む意欲を持った有志を中心とした組織づくり。 ②中心組織による立ち上げ準備、企業や行政などとの連携を模索する。また、住民の参加を促す働きかけを積極的に行い、ボランティア募集、資材等の提供など、地域の実情にあった展開をする。



(4) 先進事例:沖縄県共同売店

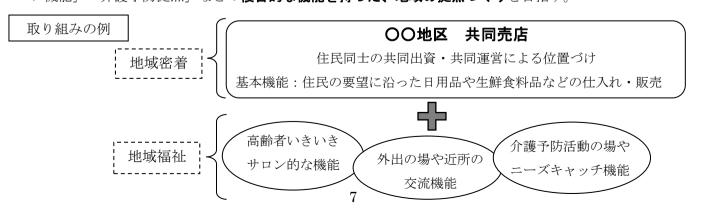
共同売店は、明治末期の沖縄県北部で誕生し、購買事業などを行う独特の相互扶助組織。村よりも小さな単位(字、小字、区)ごとに、地域の全戸(または一部)が出資して設立し、共同で運営を行う。

かつて幅広い事業を行なっており、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの原点としても再評価が進んでいる。また近年は、高齢化・買い物弱者問題などで地域の拠点としての様々な福祉的機能が注目されており、宮城県「大張物産センターなんでもや」など各地で共同売店方式が採用され、全国に広がりを見せている。



(5)機能:**地域の拠点**

アンケートでは「お店が近くにあれば人と関わりあえる。おしゃべりしながら買い物ができるような ものがあれば。」というような声があった。購買機能だけではなく「縁側的な機能」「見守り機能」「サ ロン機能」「介護予防拠点」などの**複合的な機能を持った、地域の拠点づくり**を目指す。



6、アンケート調査集計結果

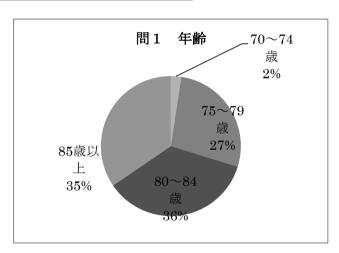
(1) 単集計

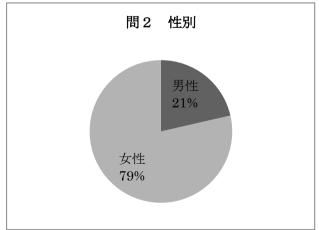
問1 年齢 回答者の82人、97.6%が75歳以上。

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計
①上新山			1	3	4	8
②北新				1	2	3
③南福地			5	5		10
④八ツ手		1	2	3	2	8
⑤与地			1	5	1	7
⑥三義		1	7	1		9
⑦台殿·北原			1	2	3	6
⑧荒町·水上				3	2	5
9御堂垣外			1	2	4	7
⑩松倉				2		2
①片倉			2	1	4	7
迎黒河内			3		1	4
①市野瀬				2	6	8
合計	0	2	23	30	29	84
ΉT	0.0%	2.4%	27.4%	35.7%	34.5%	100.0%

問2 性別

	男性	女性	合計
①上新山	3	5	8
②北新		3	3
③南福地	1	9	10
④八ツ手	2	6	8
⑤与地	2	5	7
⑥三義		9	9
⑦台殿·北原	2	4	6
⑧荒町·水上	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉		2	2
11)片倉	2	5	7
迎黒河内	1	3	4
①市野瀬	4	4	8
△ ∌l.	18	66	84
合計	21.4%	78.6%	100.0%





問3 住まいの形態

<u>中の 下やんか</u>	/1/ /Ш\			
	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
①上新山	2	5	1	8
②北新	2		1	3
③南福地	2	8		10
④八ツ手	6	1	1	8
⑤与地	6	1		7
⑥三義	7	2		9
⑦台殿・北原	3	1	2	6
⑧荒町·水上	3	2		5
⑨御堂垣外	7			7
⑩松倉	2			2
⑪片倉	7			7
迎黒河内		4		4
13市野瀬	4	3	1	8
∆⇒L	51	27	6	84
合計	60.7%	32.1%	7.1%	100.0%

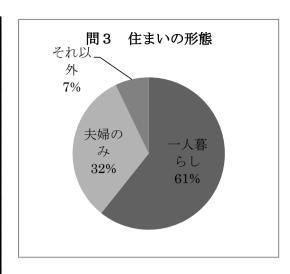
問4 自動車の運転

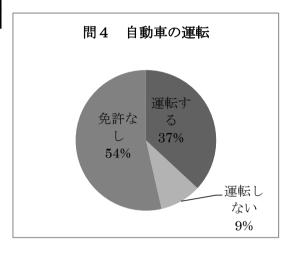
	運転する	運転しない	免許なし	合計
①上新山	3	1	4	8
②北新			3	3
③南福地	8		2	10
④八ツ手	5		3	8
⑤与地	3		4	7
⑥三義	3		6	9
⑦台殿・北原	2	1	3	6
⑧荒町·水上	1	4		5
⑨御堂垣外			7	7
⑩松倉			2	2
⑪片倉	2		5	7
⑫黒河内	4			4
① 市野瀬		2	6	8
合計	31	8	45	84
「口「目」	36.9%	9.5%	53.6%	100.0%
一人暮らし	11	2	38	51
八春りし	21.6%	3.9%	74.5%	100.0%
夫婦のみ	18	2	7	27
人が中でノーケ	66.7%	7.4%	25.9%	100.0%
こわ ロ か	2		4	6
それ以外	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%

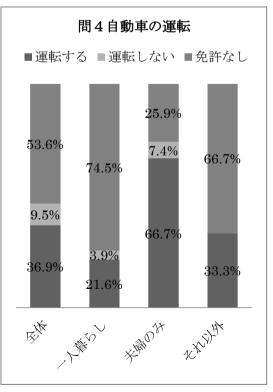
一人暮らし世帯の 78.4%は自動車を使用できない

全体の 63.1% (「運転しない」「免許なし」) が自ら運転できない状況にある。

夫婦のみ世帯の 66.7%が自動車を使用でき、一人暮らし世帯 より割合が高い。また、一人暮らし世帯の 74.5%は免許を持っ ていない。

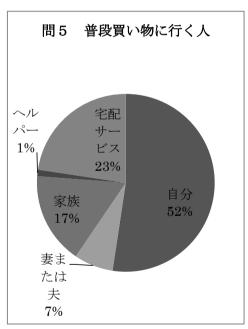


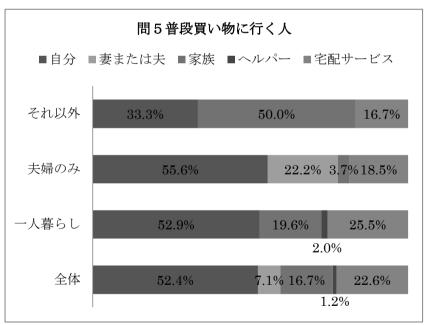




問5 普段買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計
①上新山	2	3	1	1	1		8
②北新	1		2				3
③南福地	8		1		1		10
④八ツ手	5		2		1		8
⑤与地	4		1		2		7
⑥三義	7		1		1		9
⑦台殿·北原	3		2		1		6
⑧荒町·水上	2	1	2				5
⑨御堂垣外	2				5		7
⑩松倉	1				1		2
①片倉	4				3		7
迎黒河内	3	1					4
③市野瀬	2	1	2		3		8
合計	44	6	14	1	19	0	84
	52.4%	7.1%	16.7%	1.2%	22.6%	0.0%	100.0%
一人暮らし	27	0	10	1	13	0	51
八春りし	52.9%	0.0%	19.6%	2.0%	25.5%	0.0%	100.0%
夫婦のみ	15	6	1	0	5	0	27
人がかりか	55.6%	22.2%	3.7%	0.0%	18.5%	0.0%	100.0%
フ おいか	2	0	3	0	1	0	6
それ以外	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%



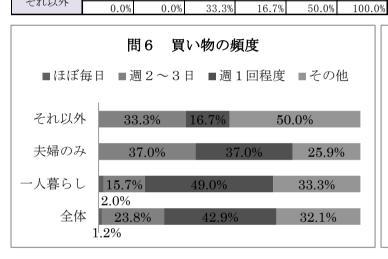


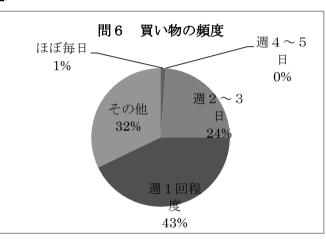
一人暮らし世帯の方が「宅配サービス」を利用する割合が高くなる

夫婦のみ世帯では「自分」「妻または夫」が買い物に行く割合は 77.8%で、一人暮らし世帯に比べて家族や 宅配サービスに頼る割合は減る。

問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程 度	その他	合計	その他理由
①上新山			3	3	2	8	出かけない、月に1、2回
②北新			1	2		3	
③南福地			6	3	1	10	月に2、3回
④八ツ手	1		2	4	1	8	何かのついで
⑤与地			4	2	1		行かない
⑥三義				6	3	9	行かない、病院のついで、10日に1回
⑦台殿·北原				1	5	6	月に1回、月に1,2回(2人)、2週間に1回、移動販売が来たら
⑧荒町・水上			1	2	2		月に1, 2回(2人)
⑨御堂垣外				4	3	7	月に3回、病院に行くついで、行かない
⑩松倉				1	1		行かない
①片倉			2	2	3	7	用があればバスで高遠の商店街まで、月に1回、月に2回
⑫黒河内			1	3		4	
① 市野瀬				3	5	8	月に1回、出かけない(4人)
合計	1	0	20	36	27	84	
口司	1.2%	0.0%	23.8%	42.9%	32.1%	100.0%	全体の 75%が週に1回以下(月に1回、2回
一人暮らし	1	0	8	25	17	51	│ │ 行かないなど)の頻度で買い物をしている。
八春りし	2.0%	0.0%	15.7%	49.0%	33.3%	100.0%	1丁かないなど)の頻及で貝が物をしている。
夫婦のみ	0	0	10	10	7	27	一人暮らし世帯は82.3%、夫婦のみ世帯であ
人が中でプラブ	0.0%	0.0%	37.0%	37.0%	25.9%	100.0%	
それ以外	0	0	2	1	3	6	$ \geq 62.9\%_{\circ} $
-CAUDATE	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	100.0%	



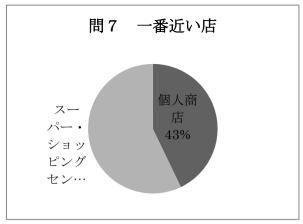


る

問7 生鮮食品を売っている一番近い店とそこまでの距離

一番近い店

	個人商店	スーパー・ ショッピングセ ンター	コンビニエンスストア	ホームセン ター・ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計
①上新山		8					8
②北新		3					3
③南福地		10					10
④八ツ手		8					8
⑤与地		7					7
⑥三義	9						9
⑦台殿·北原	6						6
⑧荒町・水上	5						5
⑨御堂垣外	7						7
⑩松倉	2						2
①片倉	7						7
迎黒河内		4					4
① 市野瀬		8					8
△ ∌l.	36	48	0	0	0	0	84
合計	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



約6割が一番近い店から5km離れている

藤沢区北原には叶屋という個人商店があるが、生鮮 食品を販売しておらず、高遠では藤沢の元 JA が一 番近い店になる。そこは個人が委託を受け運営して いる。

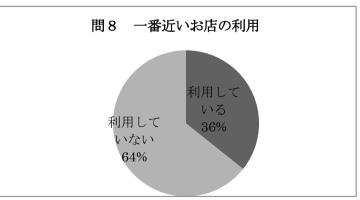
距離

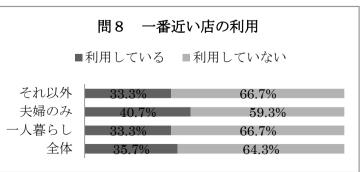
	\sim 250m	250~500m	$500 \mathrm{m} \sim 1 \mathrm{km}$	1km~5km	5km以上	合計	一番近い店
①上新山					8	8	高遠食彩館 6km
②北新				3		3	高遠食彩館 5km
③南福地				9	1	10	上伊那農協春冨支所 6.6km
④八ツ手				8			福島ツルヤ 2.5~3.5km
⑤与地					7	7	ニシザワ信大前食彩館 5.5km
⑥三義				5	4		長藤の元JA 3.5~6km
⑦台殿·北原				6			長藤の元JA3.7~4.7km、叶屋
⑧荒町·水上				3	2	5	長藤の元JA 4.4~5.6km 叶屋
⑨御堂垣外					7		長藤の元JA 7.2~8km
⑩松倉					2		長藤の元JA 9.7km
⑪片倉					7		長藤の元JA 9.8km
迎黒河内					4	4	高遠食彩館 7.4~8.4km
① 市野瀬					8	8	高遠食彩館 12.3km~14.8km
△⇒1.	0	0	0	34	50	84	
合計	0.0%	0.0%	0.0%	40.5%	59.5%	100.0%	

問8 一番近い店の利用と利用しない理由

回 0 一 田 四	V り白 ひろかりと	11 (11/11 (/よい/生田
	利用して いる	利用して いない	合計
①上新山	8		8
②北新	3		3
③南福地		10	10
④八ツ手	2	6	8
⑤与地	3	4	7
⑥三義	1	8	9
⑦台殿・北原		6	6
<u>⑧荒町・水上</u>	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉	1	1	2 7
①片倉	3	4	
⑫黒河内	4		4
③市野瀬	4	4	8
合計	30	54	84
ПВІ	35.7%	64.3%	100.0%
一人暮らし	17	34	51
八十八	33.3%	66.7%	100.0%
夫婦のみ	11	16	27
) () (1	40.7%	59.3%	100.0%
それ以外	2	4	6
CAUDATI	33.3%	66.7%	100.0%

<u>約6割が一番近い店を利用してい</u>ない





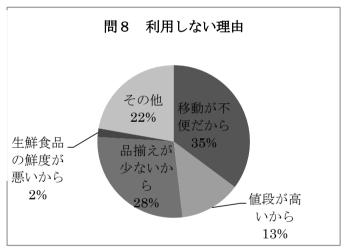
利用しない理由

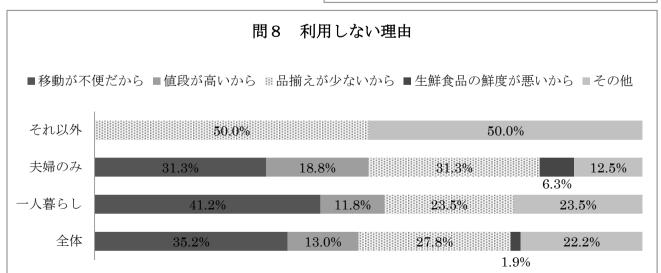
		値段が高 いから	品揃えが少な いから	生鮮食品の 鮮度が悪いか ら	営業時間や 営業時間が 合わないから	その他	合計	その他
①上新山							0	
②北新							0	
③南福地	2	3	4			1	10	ベルシャインだと他の店も回れるから
④八ツ手	1					5	_	買い物がしにくい、他の都合に合わせて店を 決めている、宅配サービスを利用している、広 告を見て決めている
⑤与地	1		1			2	4	量が多い、行けない
⑥三義	4	1	3				8	
⑦台殿・北原			6				6	
⑧荒町·水上	3			1			4	
⑨御堂垣外	6	1					7	
⑩松倉	1						1	
⑪片倉	1	2	1				4	
⑫黒河内							0	
③市野瀬						4	4	病院が伊那、動けない、行かない、出かけない
合計	19		15	1	0	12		
	35.2%	13.0%	27.8%	1.9%	0.0%	22.2%	100.0%	
一人暮らし	14	4	8			8	34	
人は りし	41.2%	11.8%	23.5%	0.0%	0.0%	23.5%	100.0%	
夫婦のみ	5	_	5	1		2	16	
) C/4/4 c 2 c /	31.3%	18.8%	31.3%	6.3%	0.0%	12.5%	100.0%	
それ以外			2			2	4	
CAUDAIR	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	

「移動が不便」、「品揃えが少ない」から利用しない

車が運転できる回答者や、家族等の送迎で買い物を している回答者は、近い店よりも行き慣れている店舗 を選ぶ。

また、一人暮らし世帯の 41.2%のほうが「移動が 不便」と感じている。



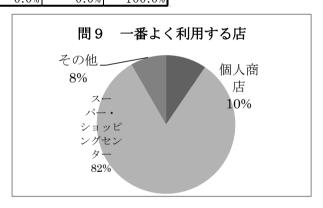


問9 一番良く利用する店とそこまでの距離、移動手段 一番良く利用するお店

	個人商店	スーパー・ ショッピングセ ンター	コンビニエンスストア	ホームセン ター・ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計	その他
①上新山		7				1	8	ヘルパーが食彩館へ
②北新		3					3	
③南福地		10					10	
④八ツ手		7				1	8	行かない
⑤与地		5				2	7	行かない
⑥三義	1	8					9	
⑦台殿·北原	2	4					6	
⑧荒町・水上	2	3					5	
⑨御堂垣外	1	6					7	
⑩松倉	1					1	2	行かない
⑪片倉	1	6					7	
⑫黒河内		4					4	
③市野瀬		6				2	8	動けない、行けない
合計	8	69	0	0	0	7	84	
	9.5%	82.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%	
一人暮らし	6	40				5	51	
八合りし	11.8%	78.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	100.0%	
夫婦のみ	2	23				2	27	
JCMH 470V	7.4%	85.2%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%	100.0%	
それ以外		6					6	
CAUDAIN	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

近い店よりも「行きやすい」「行きたい」店を選ぶ

高遠町地区のよく利用する個人商店は、長藤の元 JA の店舗と、個人商店叶屋である。「一番近い店」が $5\,k$ m以上離れた場所にある回答者が $50\,人$ (59.5%) であったのに対し、「よく利用する店」が $5\,k$ m以上離れた場所にある回答者は $73\,人$ (93.6%) であった。



距離

	~250m	250~500m	500m~1km	1km~5km	5km以上	合計
①上新山					8	8
②北新					3	3
③南福地					10	10
④八ツ手				2	5	7
⑤与地					5	5
⑥三義				1	8	9
⑦台殿·北原	1		1		4	6
⑧荒町·水上					5	5
⑨御堂垣外					7	7
⑩松倉					1	1
11)片倉					7	7
迎黒河内					4	4
① 市野瀬					6	6
△ ∌l.	1	0	1	3	73	78
合計	1.3%	0.0%	1.3%	3.8%	93.6%	100.0%

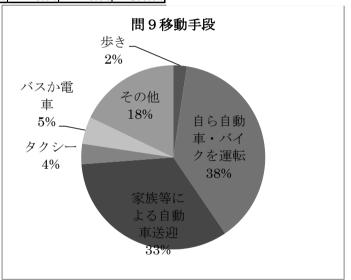
移動手段

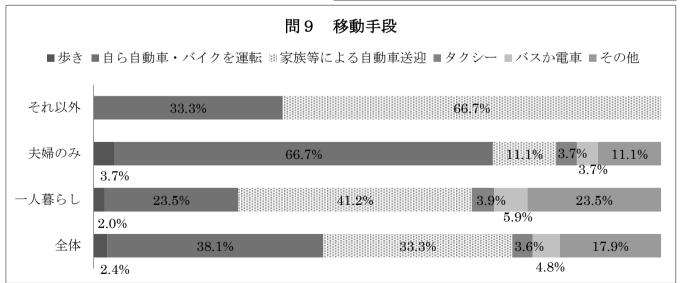
	歩き	自転車	自ら自動車・ バイクを運転	家族等による 自動車送迎	タクシー	バスか電車	その他	合計	その他
①上新山			4	3			1	8	アッシー友の会、タクシーなど
②北新				2			1	3	
③南福地			9	1				10	
①八ツ手			5	1	1		1	8	近所の親戚に乗せてもらう、行かない
5)与地			3	1			3	7	
⑥三義			3	2	1	1	2	9	友人にお願いする、長藤店で届けてくれる
⑦台殿・北原	2		1	3				6	
⑧荒町・水上				4			1	5	長藤店の送迎
9御堂垣外				3		2	2	7	近隣の人にお願いする、長藤店の送迎
10松倉							2	2	長藤店の送迎、行けない
①片倉			2	4		1		7	
②黒河内			4					4	
③市野瀬			1	4	1		2	8	動けない、行けない
∧ ∌I.	2	0	32	28	3	4	15	84	
合計	2.4%	0.0%	38.1%	33.3%	3.6%	4.8%	17.9%	100.0%	
首と 1	1		12	21	2	3	12	51	
一人暮らし	2.0%	0.0%	23.5%	41.2%	3.9%	5.9%	23.5%	100.0%	
夫婦のみ	1		18	3	1	1	3	27	
大畑のみ	3.7%	0.0%	66.7%	11.1%	3.7%	3.7%	11.1%	100.0%	
7-2011			2	4				6	
それ以外	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

約7割が買い物に自動車を使用

一人暮らし世帯は家族等の送迎によって買い物に行く割合が41.2%と高い。夫婦のみ世帯は自ら自動車を運転して買い物に行く割合が66.7%と高い。

一人暮らしである方が、家族の協力を得ている。



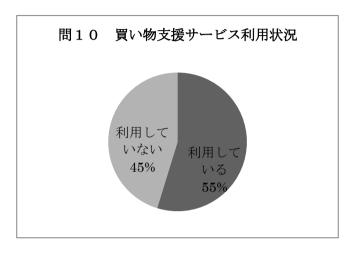


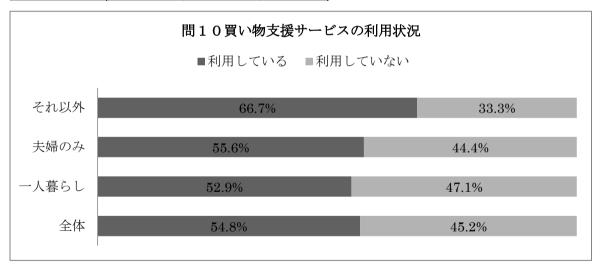
問10 買い物支援サービスの内容とその満足度 買い物支援サービスの利用状況

	利用している	利用していない	合計
①上新山	6	2	8
②北新	2	1	3
③南福地	2	8	10
④八ツ手	3	5	8
⑤与地	4	3	7
⑥三義	5	4	9
⑦台殿・北原	4	2	6
⑧荒町·水上	3	2	5
⑨御堂垣外	4	3	7
⑩松倉	2		2 7
①片倉	4	3	7
⑫黒河内	2	2	4
13市野瀬	5	3	8
合計	46	38	84
日日	54.8%	45.2%	100.0%
一人暮らし	27	24	51
八春りし	52.9%	47.1%	100.0%
夫婦のみ	15	12	27
人が中じっか	55.6%	44.4%	100.0%
こわ ロ か	4	2	6
それ以外	66.7%	33.3%	100.0%

約7割が食品宅配サービスを利用している

一人暮らし世帯では、「店舗への移動サービス」 を利用している回答者が夫婦のみ世帯よりもほぼ倍 であった。

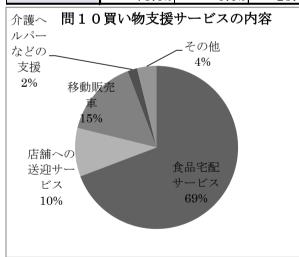


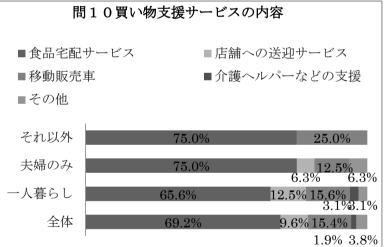


買い物支援サービスの内容 (複数回答)

	食品宅配サービス	店舗への送迎 サービス	移動販売車	介護ヘル パーなどの 支援	その他	合計
①上新山	5			1	1	7
②北新	2					2
③南福地	2					2
④八ツ手	3					3
⑤与地	3		2			5
⑥三義	3	1	1		1	6
⑦台殿·北原	3		1			4
⑧荒町・水上	2	2				4
⑨御堂垣外	4					4
⑩松倉	1	1				2
①片倉	3	1	2			6
⑫黒河内	2					2
③市野瀬	3		2			5
合計	36	5	8	1	2	52
口百日	69.2%	9.6%	15.4%	1.9%	3.8%	100.0%
一人暮らし	21	4	5	1	1	32
八春りし	65.6%	12.5%	15.6%	3.1%	3.1%	100.0%
夫婦のみ	12	1	2		1	16
ノヘダロマファチ	75.0%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	100.0%
こわ いか	3		1			4
それ以外	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%

一人暮らし世帯は「送迎サービス」や「移動販売」などのサービスを利用する割合が高い





買い物支援サービスの満足度

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	合計
食品宅配サービス	18	5	9	3	1	36
店舗への送迎 サービス	1	1	•	2	1	5
移動販売車	6	1	1			8
介護ヘルパーな どの支援	1					1
その他	2					2
△ ∌l.	28	7	10	5	2	52
合計	53.8%	13.5%	19.2%	9.6%	3.8%	100.0%

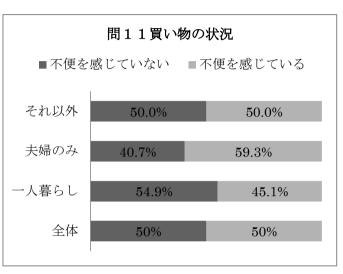
<u>約6割がサービス</u> <u>に満足している</u>

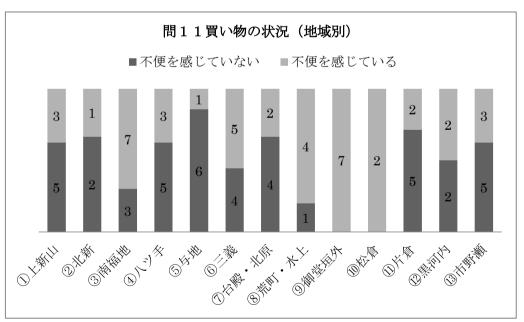
問11 買い物で不便に感じていること 買い物状況

	不便を感じて いない	不便を感じて いる	合計
①上新山	5	3	8
②北新	2	1	3
③南福地	3	7	10
④八ツ手	5	3	8
⑤与地	6	1	7
⑥三義	4	5	9
⑦台殿・北原	4	2	6
⑧荒町·水上	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉		2	2 7
⑪片倉	5	2	7
迎黒河内	2	2	4
① 市野瀬	5	3	8
合計	42	42	84
「日日	50%	50%	100%
一人暮らし	28	23	51
八春りし	54.9%	45.1%	100.0%
夫婦のみ	11	16	27
人がいっか	40.7%	59.3%	100.0%
こわ い か	3	3	6
それ以外	50.0%	50.0%	100.0%

半数が不便さを感じている

「不便に感じていない」と回答した一人暮らし世帯は28人(54.9%)で、夫婦のみ世帯より多く、夫婦のみ世帯の方が「不便を感じている」と回答した割合が高い。



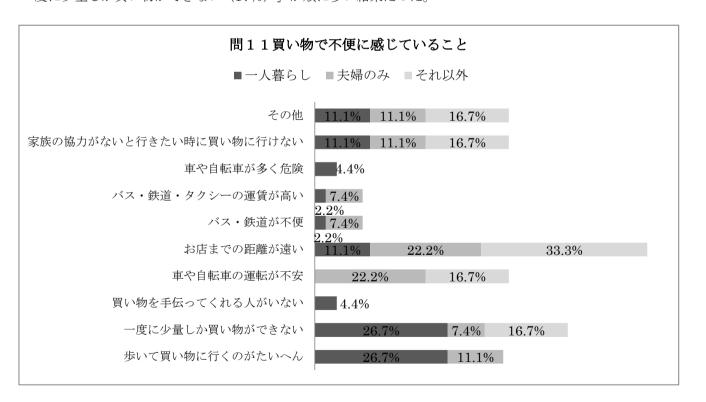


買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

	歩いて買い物 に行くのがたい へん	重いものが持て ないため、一度 に少量しか買い 物ができない	買い物を手伝っ てくれる人がい ない	車や目転車の	お店までの距離が遠い	バス・鉄道が不 便	バス・鉄道・タク シーの運賃が 高い	車や自転車が 多く危険	家族の強力が ないと行きたい 時に買い物に 行けない	その他	合計	その他
①上新山				1	2		1			1	5	雪が降った時の道が心配
②北新	1	1			2		1				5	
③南福地	1	2		3		1	1		1	1	10	目が悪いので、店内の移動が困難
④八ツ手		1		1	3				1		6	
⑤与地								1		1	2	おしゃれ着はをどこで買えばいいか?
⑥三義	1	2		1		3			1		8	
⑦台殿·北原		1			1					1	3	魚が新鮮で食べられない
⑧荒町・水上	2				3			1	2	1	9	JA長藤はものが少ないし高い
⑨御堂垣外	7	6	2		5						20	
⑩松倉		1			1					2	4	こまめに(すぐに)買い物ができない
①片倉	1				1				2	1	5	足りない時にこまる
⑫黒河内				1	1	1					3	
⑬市野瀬	2	1			1	1			2	1	8	自分で(みんなで行って)選びたい
合計	15	15	2	7	20	6	3	2	9	9	88	
口司	17.0%	17.0%	2.3%	8.0%	22.7%	6.8%	3.4%	2.3%	10.2%	10.2%	100.0%	
一人暮らし	12	12	2		5	1	1	2	5	5	45	
八春りし	26.7%	26.7%	4.4%	0.0%	11.1%	2.2%	2.2%	4.4%	11.1%	11.1%	100.0%	
夫婦のみ	3	2		6	ŭ	2	2		3	3	27	_
المركبالية كالمركب	11.1%	7.4%	0.0%	22.2%	22.2%	7.4%	7.4%	0.0%	11.1%	11.1%	100.0%	4
それ以外		1		1	2				1	1	6	
CAURATI	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	100.0%	ĺ

距離に不便さを感じている

「店までの距離が遠い(22.7%)」「歩いて買い物に行くのが大変(17%)」「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない(17%)」が順に多い結果だった。

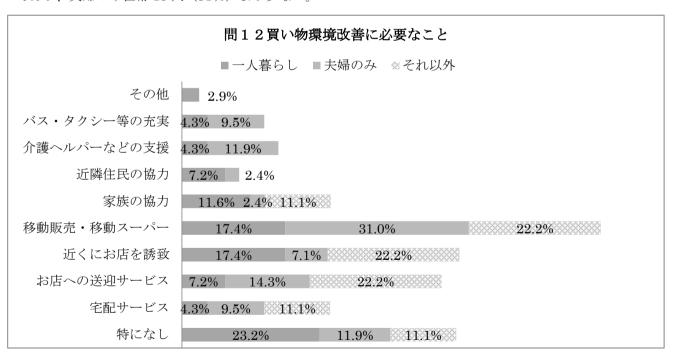


問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

	特になし	宅配サービス	お店への送迎 サービス	近くにお店を 誘致	移動販売・移 動スーパー	家族の協 力	近隣住民の協 力		バス・タクシー 等の充実	その他	合計	その他
①上新山	3			1	2		1	1	1		9	
②北新		1		1	1	2					5	
③南福地		2	2	2	7			5		1		タクシー券の充実
④八ツ手	3	2		1	3	1			1	1	12	料金を低くしてもらいたい
⑤与地	5		1	1			1				8	
⑥三義	1	1	2		2	4	1		3		14	
⑦台殿・北原	2		1	2	2	1					8	
⑧荒町・水上	1		2	1	2						6	
⑨御堂垣外	1	2	2	1	3		1				10	
⑩松倉	2			2							4	
①片倉				4	1		1	1			7	
⑫黒河内			2		2			1	1		6	
①市野瀬	3		1	1	2		1		1		9	
合計	21	8	13	17	27	8	6	8	7	2	117	
ПП	17.9%	6.8%	11.1%	14.5%	23.1%	6.8%	5.1%	6.8%	6.0%	1.7%	100.0%	
一人暮らし	16	3	5	12	12	8	5	3	3	2	69	
八合りし	23.2%	4.3%	7.2%	17.4%	17.4%	11.6%	7.2%	4.3%	4.3%	2.9%	100.0%	
夫婦のみ	5	4	6	3	13	1	1	5	4		42	
)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	11.9%	9.5%	14.3%	7.1%	31.0%	2.4%	2.4%	11.9%	9.5%	0.0%	100.0%	
それ以外	1	1	2	2	2	1					9	
~(406)	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

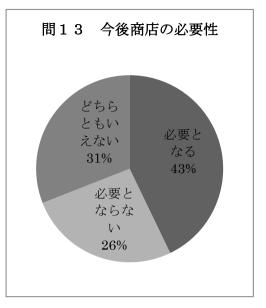
移動販売・移動スーパーを希望する割合高い

「特になし」と答えた一人暮らし高齢者の回答者は 16 人(23.2%)で、夫婦のみ世帯 5 人(11.9%)よりも多い。また、「移動販売・移動スーパー」と答えた一人暮らし高齢者の回答者は、12 人(17.4%)であり、夫婦のみ世帯 13 人(31%)より少ない。



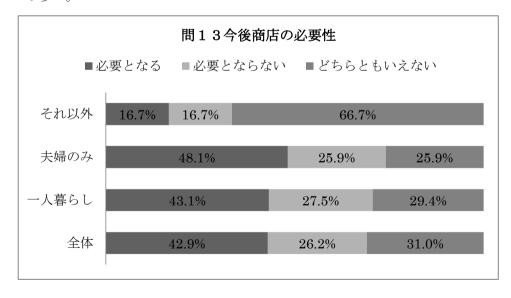
問13 今後商店の必要性

	必要となる	必要とならない	どちらとも いえない	合計
①上新山	1	3	4	8
②北新		1	2	3
③南福地	6	1	3	10
④八ツ手	6	1	1	8
⑤与地	1	4	2	7
⑥三義	5	1	3	9
⑦台殿・北原	2	4		6
⑧荒町·水上		5		5
⑨御堂垣外	3		4	7
100松倉	2			2
⑪片倉	5	1	1	7
⑫黒河内	3		1	4
13市野瀬	2	1	5	8
合計	36	22	26	84
	42.9%	26.2%	31.0%	100.0%
一人暮らし	22	14	15	51
八春りし	43.1%	27.5%	29.4%	100.0%
夫婦のみ	13	7	7	27
ノヘダロマフッチ	48.1%	25.9%	25.9%	100.0%
こわ ロ か	1	1	4	6
それ以外	16.7%	16.7%	66.7%	100.0%



約4割が近所の店を必要としている

今後商店の必要性を感じている世帯は、夫婦のみ世帯(48.1%)の方が一人暮らし世帯(43.1%)より多い。



問14食品群別の摂取状況

	ほぼ毎日	2日に1回	週1~2回	ほとんど食	合計
魚介類	37	25	20	2	84
思力 類 	44.0%	29.8%	23.8%	2.4%	100.0%
肉類	24	19	39	2	84
P 1775	28.6%	22.6%	46.4%	2.4%	100.0%
卵類	58	15	9	2	84
91°58	69.0%	17.9%	10.7%	2.4%	100.0%
乳類	70	6	3	5	84
7 0 7 5	83.3%	7.1%	3.6%	6.0%	100.0%
豆類	51	17	13	3	84
	60.7%	20.2%	15.5%	3.6%	100.0%
野菜類	79	3	1	1	84
27 水源	94.0%	3.6%	1.2%	1.2%	100.0%
海藻類	33	13	26	12	84
TO T	39.3%	15.5%	31.0%	14.3%	100.0%
いも類	39	18	21	6	84
• 0,2	46.4%	21.4%	25.0%	7.1%	100.0%
果物類	44	13	14	13	84
7K 1/3 /A	52.4%	15.5%	16.7%	15.5%	100.0%
油脂類	10	25	36	13	84
	11.9%	29.8%	42.9%	15.5%	100.0%
缶詰や冷凍食	7	6	32	39	84
口口	8.3%	7.1%	38.1%	46.4%	100.0%

(2) 聞き取り調査

①買い物における不便、将来への不安

地	区	回答
	上新山	近くに店があっても行けない。
	上析山	昔は個人の店があって都合が良かった。
		これから運転ができなくなる人が増えると思うため心配。
富県		今は夫と二人でできるが、運転ができなくなると困る。今後のことは近所の人も心配している。
	南福地	店は近くにあっても利用が難しい。時間がかかっても、大きい店舗で買い物したい。
		足が不自由なため、店が近くにあっても車の乗り降りがたいへん。
		車が使えなくなるのは困る。
		酒井商店があるが、用が足りない時がある。
		買い物に行っても、誰か一緒に行ってくれる人がいないと、自分で持てる量を考えて買い物しなけ
手良	八ツ手	ればならない。
		今は自分で運転して買い物に行けるが、今後年を取って自分で買い物に行けない時が心配。
		90を超えているが、車がないと不便なので乗っている。運転できなくなった時が不便。
西箕輪	与地	移動販売は高いので行かない。
		息子が買ってきてくれるが、食材を無駄にしてしまうことがよくある。本当は自分の目で見て買いた
	三義	\(\frac{\cappa_0}{\cappa_0}\)
	→ 4X	バスが週に二回で不便。
		買い物も通院も、免許を返した後にどうするのか心配している。
	台殿·北原	叶屋がなくなったら困る。やってくれているお陰で助かっている。
		移動販売がきても、そこまで行って車に乗り、またかったものを提げてこないといけない。バスの送迎 も乗り降りが大変。
	 荒町·水上	やっぱり自分の目で見て買いたい。長藤店は肉など色が悪くなっていて、値下げせずに売っている。 パックも量が多い。 惜しいなあと思う。
		車社会だし、利用者が少ないので仕方ないと思うが、利用者が少なければ過疎の地域は捨てられ ちゃうのかなと思う。
高遠町		夫が運転出来なかったら困る。
1-1×F1	2年17月	まごころ宅配を利用しているがペンやマジックなど、ちょっとしたほしいものが買えない。
	御堂垣外	今は親戚の人が買い物を一緒にしてくれるが、その人も70代なので、これからが心配。
	+1/ 🛆	生協は頼みにくいがこれしかない。
	松倉	バスで商店街に行くこともあるが、遠いし不便。
		富士野屋(個人商店)のようなお店があればいいが、この過疎化が進んだ地域ではすぐに潰れてし
		まう。
		急にほしいものが買えないので困っている。商店のようなものがあればいいと思うが、難しいと思う。
	片倉	夫が運転できるので良いが、免許の更新はもうできないと思っている。この後が心配。
		車を運転できなくなれば、店は必要かもしれない。でも、店を運営していくことは難しい。
		送迎バスを利用して長藤店を利用しているが、品揃えは悪いし高い。そのうちなくなるのではない
		か。
長谷	黒河内	今は買い物に対する不便さはないが、いずれは不便になると感じている。
	市野瀬	足が痛いので店まで行けないし、店の中を歩くのも大変だから出かけない。

②希望するサービス

地	区	回答
	上新山	近くに店があれば良い。
	北新	移動販売や近くに店があれば良い。
	12.00	車に乗れなくなったら、移動購買車に来て欲しい。
		コンビニが近くにあれば良いが。
		昔地域に商店があった。近所や公民館に来てくれればありがたい。
		店への送迎だけでなく、一緒に乗せていって、一緒に買い物してくれるサービスが
富県		欲しい。(介護保険として)タクシー券の充実。
ши	南福地	JAも理事会では存続に向けて議論をしたが難しかった。店が近所にないのは不便に
	113 1121 2	感じているが、みんなで協力しないといけない。
		店があれば良いと思うが、みんなが使う意識が必要。
		北福地のように移動販売が来れば良いと思う。
		宮田村から豆腐屋がくるが、早く帰ってしまう。こまめに停まって欲しい。地域に 店があると良いとは思うが、やる人による。協力して存続させなければ。
		世のひまわり号(移動販売車)みたいなものがあればいいと思う。添加物が気にな
		るので、自分で確かめて購入したい。
		車が使えなくなった時の事を考えると、宅配サービスや移動販売があると便利。買
		い物は自分の目で見て購入したい。近くの公民館にでも販売車が来て店を開いてく
手良	八ツ手	れれば買いに行ける。
		自分で見て買い物したいけど、足が悪く、歩くのも大変。宅配サービスが良い。
		自分の目で確かめて、国産の物などを買いたい。移動購買車なら自分で見て買え る。
		30。 昔のように移動販売があったら、自分の目で見て確かめて買い物ができる。
	昔竹屋という日用品を買える店があった。あれば便利だけど、難しい。	
西箕輪	与地	JAの移動販売が楽しみ。以前は集落センターまで行ったが、今はお願いして自宅ま
		で来てもらっている。店員と話をするのが好き。
	三義	移動販売などで近所の人と賑やかに買えるといいと思う。あと2、3年すると移動
		販売に来てもらってもそこまで行けないかも。
		店が遠くて行けれない。近くにあれば行きたい。実物を見て選べるといい。 近くに食品を買えるお店があれば便利。
		ガンに良品を負えるね店がめれば使利。 月に1回でも食彩館への送迎があれば、なんでも揃っていていいと思う。タクシー
		は料金が高い。 長藤店の場所は広いので、西笹輪などのようにファミリーマートができればいい
		長藤店の場所は広いので、西箕輪などのようにファミリーマートができればいい。
		以前に行ったら100円コーナーや生産者の野菜などがあってよかった。
		玄関から玄関への送迎があれば
高遠町		買い物は近所の人が連れて行ってくれる。お店が近くにあれば、人との関わりや人
	御堂垣外	が集まるのでありがたい。 自分の目で見て触れて選んで買い物をできればそれも楽しみになる。
		IA藤沢支所が月・水・金だけ金融をしているので、それに合わせ食材などを販売し
		てくれるとありがたい。
	松倉	近くに店があれば良い。
	化 后	近くに店があればこまめに買い物ができる。
		目で見て買い物がしたい。スーパーに連れて行ってくれるのもいいし、近所に移動
	片倉	販売が来て賑わうのもいい。
	, , , , _	自分で買うのは楽しみ。店が近くにあるのが一番だけど・・・
		死ぬ前に買い物もサロンもやってもらいたい。
		昔あった、移動販売車があると家の近くまで来てくれるのでありがたいと思う。 自分で動けなくなれば、ヘルパーにお願いするようになると思うが、やはり買い物
	m > 1.	は見て買いたい。
	生 川 [八	近くにお店があれば便利だが、住んでいる人が少ないので、店が続かないと思う。
巨.公		みんなとおしゃべりしながら買い物ができるようなものがあればいい。(移動販売
長谷		車であったり、近所でグループを作って乗合で買い物に行ったりとか)
		「やるじゃんかい」がもう少し奥まできてくれたらよいのだが。
	市野瀬	店を出してくれる人がいればいいのだが。
		たまにはみんなで買い物に行って、お店の中を見てみたい。
		店ができたり、移動販売車が来ても、そこまで出ていくのが難しい。

③現在の買い物方法、利用している支援サービス

		、利用している支援サービス
地	区	回答
		息子が週末に来るので、その時に買い物に出かける。まごころ食材を取っている。頼
		んでないものが届くことがある。
		買い物は妻に任せている。週に2、3回は食彩館へ。 <mark>生協</mark> を月に1回頼む。
	上新山	まごころ宅配を取っている。ヘルパーも来ている。今は不便はない。
		桜井の春日商店で配達をしてくれる。運転ができるので買い物はいける。
		息子に食彩館や西友に連れて行ってもらう。
富県		生協の宅配サービスを利用している。買い物に行くことは少ない。
		桜井の春日商店。まごころ宅配、通院の帰りに食彩館に寄っている。(タクシー利
	北新	用)
		今のところは <mark>生協の配達</mark> で間に合っている。
	南福地	息子が支援してくれたり、コープの配達が便利なので利用している。
	113 1111 212	東春近のJAは近いが、食料品は買いに行かない。
		酒井商店(通称:まるさ)という小さな店があって、注文すれば配達してくれる。
手良	八ツ手	タクシーを利用して孫と買い物に出かけるのが楽しみ。券が配られるので利用してい
		る。
		車を運転して福島のツルヤに買い物に出かける。
		タバコを買いに行くついでに肉や魚を買いに行く。
		近所の親戚の人に買い物に乗せていってもらう。できるだけ自分の目で見て買い物が
<u>→</u>	⊢ lib	したいし、料理もしたい。
西箕輪	与地	まごころ宅配を取っているし、夫が運転できるので不便はない。
		買い物は娘にお願いしている。出来上がったものを冷凍で送ってくれるサービスを利
		用している。
		ファミリーマートの移動販売車が来ているのでたまに利用している。
		買い物に連れて行ってくれる友人が2人いる。
		長藤店の送迎や電話での注文
	三義	まごころ宅配を利用。他はバスを乗り継いで病院のついでに買い物に行く。
		週に1回、静岡から移動販売車が来ている。夫は刺身が好きなのでよく買っている。
		生協は週に1回利用。少量の商品が少なく、使い勝手が悪い。静岡から移動販売がく
		るが、お得意様の所しか停まらない。
	台殿・北	まごころ宅配を利用。
	原	息子が買い物に連れて行ってくれる。
	///	叶屋(個人商店)が配達してくれる。
	-tota mana - I	叶屋があるが、自力では行けれない。
	荒町・水	長藤店の送迎を利用している。
	上	近くの商店は利用せず、息子に頼んでいる。
高遠町		まごころ宅配を利用。娘と生活必需品は買いに行く。
		高遠食彩館の宅配サービスを利用している。
	御堂垣外	高遠食彩館を利用するが、バスを利用する時は高遠駅から歩かなければならず、美篶
		同様なお頃な利用するが、ハスを利用する時は同趣脈がも多がなりればならり、天鳥農協まで行く。
		生協を利用している。他は娘が買ってきてくれる。
	松倉	長藤店の送迎を利用している。
		まごころ宅配を利用。満足している。買い物には不自由していない。
		移動販売車が自分の家に来てみんな集まってくる。その時のコミュニケーションは大
	片倉	切だと思う。
		生協を頼んでいる。足りないものはバスに乗って高遠の商店街まで買いに行く。
		茅野のスーパーまで車で往復1時間かけて行っている。
		使わなくては無くなってしまう、という気持ちで長藤店を使っている。
		生協を利用している。満足はしているが、たまに外れもある。
	里河内	
	黒河内	なんらかの手段で食材を調達していて、今のところ不便さはない。
	黒河内	
長谷	黒河内	なんらかの手段で食材を調達していて、今のところ不便さはない。
長谷	黒河内	なんらかの手段で食材を調達していて、今のところ不便さはない。 生協の個別宅配。不自由はない。 JAのまごころ宅配。献立があるので栄養のバランスはいいと思う。
長谷		なんらかの手段で食材を調達していて、今のところ不便さはない。 生協の個別宅配。不自由はない。

4その他

④その他 	1区	回答
171		
	上新山	ゴミ出しの場所が遠いが不便ではない。
•		ご近所付き合いが昔と違い寂しくなっている。
		思いとしては、死ぬまでこの家で暮らしたい。
	北新	近所の方が医者に送ってくれるが、迎えがいつになるかわからないため、頼めない。
富県		タクシーが高いため不便。
		ご近所付き合いや交流会などある。夜は一人なので寂しい。今の環境は最高。 同居はしていないが、近所に子どもがいる家が多いと感じている、男性が一人残され
		同居はしていないが、近所に子ともかいる家が多いと感じている、男性が一人残され ると心配になってしまう。
	南福地	出番があったり頼られるとありがたい。脳いきいき教室に参加している。男性ももっ
		と参加してもらえたらと思う。
		一人だから誰かと話したくなる。
		脳いきいき出前も人が減ってしまった。
		昔は賑やかな地区だったのに、人数も段々減ってしまった。将来この地域がなくなっ
	for tell	てしまうのではないか。
西箕輪	与地	ご近所付き合い今でも続いている。助け合ったり、見守りあったりができる地区。
		寂しくて通りかかった人と話したり、家に近所の人が来て話をすることがよくある。
		一言も喋らない日がある。
		通院に困っている。交通手段はバスを利用しているが、乗り継ぎが大変。おのりな号
		は月4回という制約があり、使いにくい。
	三義	雪かきができず、近所の人に頼んでいる(有料)。草刈も大変になってきた。
		冬は近所の人とお茶会をしている。
		一人でいると何もやる気がおきない。
	/s = 11. FE	話し相手が欲しい。
	百敗・北原	足が悪いから移動販売は自宅近くでないと行けない。
		買い物より通院の方が都合がわるい。10時に下って行っても、込んでいれば12時の戻
		りのバスには乗れない。急に具合が悪くなった時などは近所の人に助けてもらうが、
		若い人がいる家も2軒くらいしかない。
		近所の人と話したら、「買い物は何かどうか食べてるもんで、それよりは病院の送り
		迎えの方をどうにかしてもらいたいね」という話になった。今はおのりな号で中病へ
	-tite man 1 1	2ヶ月に1回行っているが、他の科の時は時間が早いのでバスを使っている。 (おのり
	荒町・水上	な号は3月に1000円を納めて登録すれば1年間使える。1ヶ月に4回までなので、往復利
高遠		用すると2回のカウントになる)バス券ももらっているが、乗り降りが大変。バスは朝
		8時と10時で、帰りは12時と1時。それを過ぎると夕方になってしまう。院外処方で遠 州屋薬局にも寄らなければならず、薬局を急かしてようやくバスに間に合わせること
		一直
		ある程度人に頼んでもできるが、通院は自分が行かないとどうにもならないので、勝
		手を言うようだが何か考えてもらえるとありがたい。
		誰かが家に来てくれると嬉しい。話し相手がほしい。近所の人に良くしてもらえてあ
	御堂垣外	りがたい。
	脚星坦外	家の周りには家があるが、近所とうまくいっていない。話を聞いてくれる人がほし
		٧٠ _٥
	松倉	近所の人と交流をしたいと思うが、若い人たちはそうは思わないようだ。
		雪かきが大変。近所の人がかいてくれる。
		近所の人とお互いの家でお茶のみをしている。
	片倉	話すのは楽しい。おしゃべりサロンを誰かにやってもらいたいが、近所の人が主に
		なってはダメ。(しがらみがあり、役員のなり手がいないから)社協でやってほし
		い。もしくは民生児童委員に開催してもらいたい。
	黒河内	家の周りは空家だらけで、夜、夫が留守だったりすると心細くなる。
		通院の心配がある。
		生ゴミは、近所の人が声をかけてくれるので頼んでいる。ビン・缶は隣の家で持って
長谷		行ってくれる。 昔はお茶のみ会を毎日のようにしたけれど、仲のいい友達が入所したり亡くなったり
人口	市野瀬	宣はお糸のみ云を毎日のようにしたけれと、仲のいい及達が八所したりしくなったり して毎日寂しい。
	印料快	前社協がやっていた一人暮らし交流会がとても楽しみだった。またやってほしい。
		雪かき、網戸、障子の張替えはシルバーに頼んでいるが、雪かきを頼んでいた人が体
		調を崩し困っている。違う人を頼んだが、思うようではないので冬が心配。
		Memonono Sey/Ce族/Cex (心) なりではない。

(3) 地域別集計

①富県地区 ○上新山区·北新区

1) 地区の現状

	ひとり	2人	3人以上	計	地区総世帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世帯率)※	実回答数
上新山区	23	22	2	47	138	38. 50%	34. 10%	8
北新区	14	18	1	33	99	35. 50%	33. 30%	3

2) 調査対象者の基本情報

年齢、性別

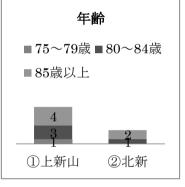
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
①上新山			1	3	4	8	3	5	8
②北新				1	2	3		3	3
合計			1	4	6	11	3	8	11

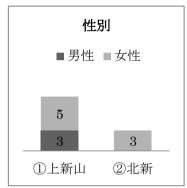
住まいの形態

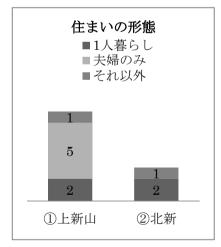
	1人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
①上新山	2	5	1	8
②北新	2		1	3
合計	4	5	2	11

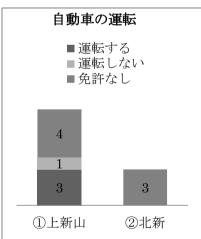
自動車の運転

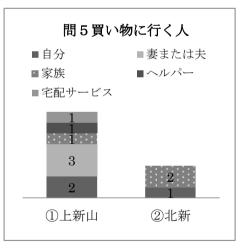
	運転する	運転しない	免許なし	合計
①上新山	3	1	4	8
②北新			3	3
合計	3	1	7	11











3) 買い物に関すること

問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サー ビス	その他	合計
①上新山	2	3	1	1	1		8
②北新	1		2				3
合計	3	3	3	1	1		11

問6 買い物の頻度

	ほぼ毎日	週4~5 日	週2~3 日	週1回程 度	その他	合計
①上新山			3	3	2	8
②北新			1	2		3
合計			4	5	2	11

問7一番近い店の距離

	$1\sim 5\mathrm{km}$	5 km以上	合計	一番近い店
①上新山		8	8	高遠食彩館 6km
②北新	3		3	高遠食彩館 5km

全ての回答者が高遠食彩館を利用している。

問8 一番近い店の利用

	利用して いる	利用していない	合計
①上新山	8		8
②北新	3		3

問9 一番良く利用するお店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセ ンター・ ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計	その他
①上新山		7				1	8	ヘルパーが食彩館へ
②北新		3					3	
合計		10				1	11	

高遠食彩館、上新田区の西友や美篶農協などを利用している。いずれも5km以上距離がある。 移動手段

	歩き	自転車	自ら自動 車・バイ クを運転	家族等に よる自動 車送迎	タクシー	バスか電 車	その他	合計
①上新山			4	3			1	
②北新				2			1	

その他・・アッシー友の会

4) 買い物支援サービス

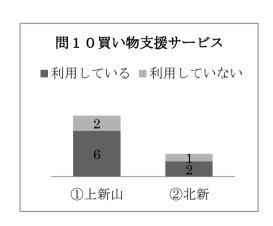
問10 買い物支援サービスの内容

買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用して いない	合計
①上新山	6	2	8
②北新	2	1	3
合計	8	3	11

買い物支援サービスの内容(複数回答)

	食品宅配サービス	店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなど の支援	その他	合計
①上新山	5			1	1	7
②北新	2					2
合計	7			1	1	9



問6 買い物頻度

①上新山 ②北新

■その他

■週1回程

■週2~3 日

度

10 8

6

4

2

0

農協のまごころ宅配や生協の宅配サ ービスを利用。桜井区の春日商店の配達 を利用している回答者もいた。

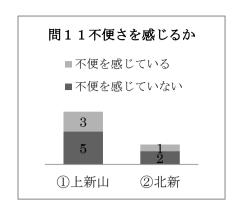
5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること

買い物状況

	不便を感じ ていない	不便を感じ ている	合計
①上新山	5	3	8
②北新	2	1	3
合計	7	4	11

買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)



	少いに見い物に行くのがた	いため、 一度に少	子伝ろし		の日日内化スミ	バス・鉄道が不便	バス・鉄 道・タク シーの運 賃が高い	車や自転車が多く危険	家族の強 力がない と行きに い物に行 けない	その他	슴計	その他
①上新山				1	2		1			1	5	積雪の道
②北新	1	1			2		1				5	
合計	1	1		1	4		2			1	10	

問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

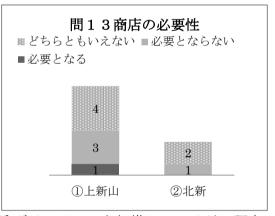
	特になし	宅配サービス	お店への 送迎サー ビス	近くにお 店を誘致	移動販 売・移動 スーパー	家族の協 力	近隣住民 の協力	介護ヘル パーなど の支援	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計
①上新山	3			1	2		1	1	1		9
②北新		1		1	1	2					5
合計	3	1		2	3	2	1	1	1		14

問13 今後商店の必要性

	必要となる	必要となら ない	どちらとも いえない	合計
①上新山	1	3	4	8
②北新		1	2	3
合計	1	4	6	11

6) まとめ

上新山区や北新区には農協の撤退後に店がないが、子どもに送迎を頼む、ヘルパーや宅配サービスを利用するなどしており、直接的に不便さを感じている人は少なか



った。北新区では住民による「アッシー友の会」という送迎ボランティアを組織しているが、調査からはあまりそれについての声は少なかった。

一番近い高遠食彩館は、全ての人が日頃利用している。桜井区の春日商店の配達を利用する人もいた。今後商店の必要性について、必要ではない、どちらともいえないという回答を多く得たが、中には移動販売車や近くに店がほしいという回答もあった。

近隣の助け合いがある地域ではあるが、昔と違う近所付き合いに寂しさを感じる意見もあった。 身体的な理由で外出が難しくなった住民にとって、地形上の外出のしにくさは買い物のみならず、 生活全般で不便を感じている。「外出のしやすさ」をキーワードとして新山地域独自のまとまりを 活かした取り組みになるよう、さらに調査が必要である。

○南福地区

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上	計	地区総世帯数	高齢化率 ※市 27.9%		実回答数
南福地区	21	26	2	49	149	36.80%	32.90%	10

2) 調査対象者の基本情報

年齢、性別

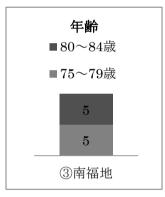
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
③南福地			5	5		10	1	9	10

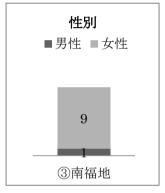
住まいの形態

自動車の運転

	一人暮ら	夫婦のみ	それ以外	合計	
③南福地	2	8			10

	運転する	運転しない	免許なし	合計	
③南福地	8		2	10	0









3) 買い物に関すること

問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計
③南福地	8		1		1		10

運転免許がない回答者は、家族や宅配サービスに依頼している。

問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程 度	その他	合計
③南福地			6	3	1	10

問7一番近い店の距離

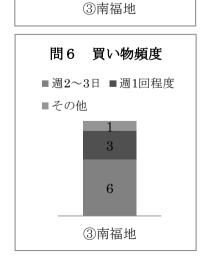
	$1\sim 5~\mathrm{km}$	5 km以上	合計	一番近い店
③南福地	9	1	10	L伊那農協春富支所

一番近い店は東春近の上伊那農協春富支所で、距離は $3.4\sim6.6~k~m$ 。 問8一番近い店o利用

	利用して いる	利用していない	合計	
③南福地		10	10	0

全ての回答者が一番近い店を利 用していない。





一番近い店を利用しない理由

		値段が高 いから		生鮮食品 の鮮度が 悪いから	営業時間 や営業時 間が合わ ないから	その他	合計	
③南福地	2	3	4			1		10

問9 一番良く利用する店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセ ンター・ ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計	
③南福地		10						10

よく利用する店はAコープ中央店、ベルシャインであった。

移動手段

	歩き	自ら自動 車・バイ クを運転	家族等に よる自動 車送迎	タクシー	バスか電 車	その他	合計	
③南福地		9	1					10

移動手段はいずれも自動車で、公共交通機関を利用している回答はなかった。

「ベルシャインだと他の店にも行

4) 買い物支援サービス

問10 買い物支援サービスの内容とその満足度 買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用していない	合計
③南福地	2	8	10

買い物支援サービスの内容(複数回答)

	食品宅配 サービス	店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなど の支援	その他	合計	
③南福地	2						2

5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること 買い物状況

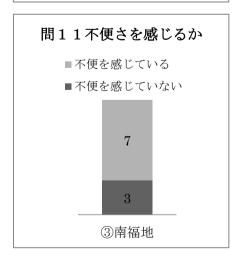
	不便を感 じていな い	不便を感 じている	合計
③南福地	3	7	10

問10買い物支援サービス■利用している ■利用していない 8 2 ③南福地

その他・・

くことができるから」

行きたい店を選択している。



買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

	歩いく貝 い物に行 くのがた いへん	一度に少	具い物を手伝って	車の運転	お店まで の距離が 遠い	バス・鉄 道が不便	シーの連	車が多く危険	家族のないきにいいいけないはないはない	その他	合計	その他
③南福地	1	2		3		1	1		1	1		目が悪い ので、店 内の移動 が困難

運転して好む店に行くことはできるが、買い物先で重いものが持てない、運転が心配などの不安など の心配がある。

問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

	特になし	ビス	+T-1114+	近くにお 店を誘致	移動販 売・移動 スーパー	家族の協 力	の協力	介護ヘル パーなど の支援	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計	その他
③南福地		2	2	2	7			5		1	19	タクシー 券の充実

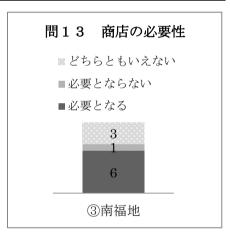
移動販売を希望する回答が多かった。

問13 今後商店の必要性

	必要となる	必要となら ない	どちらとも いえない	合計
③南福地	6	1	3	10

6) まとめ

南福地区では、車を運転できる回答者が8割であったため、一番近くの店である上伊那農協春富支所を利用する回答者はおらず、行き慣れているAコープやベルシャインを利用している。また、免許がない回答者でも使いにくいという理由でバスやタクシ



一などは利用しておらず、生協などの宅配サービスの利用や家族の協力によって買い物をしている。 また、今後運転できなくなった時の心配があり、以前この地区に来ていたような「移動販売車に 来て欲しい」や、「コンビニが近くにあれば」「店への送迎だけでなく、乗せてくれて一緒に買い 物をしてくれるサービス(介護保険として)がほしい」という希望が出た。

この地域には公民館がそれぞれの家から遠く、拠点がないように思われる。細かく巡回する移動 販売の希望が多く、この地域では受け入れやすいと考える。

回答者からは「店が近所に無いのは不便に感じるので、協力しあわないといけない」といった声もあり、問題意識や意欲を持った住民があれば、取り組みが可能な地域である。

②手良地区 ○八ツ手区

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上	盐	地区総世帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世 帯率※市 23.6%	調査世帯数	実回答数
④八ツ手	21	17	2	40	126	35. 80%	31. 70%	8	8

2) 調査対象者の基本情報

年齢、性別

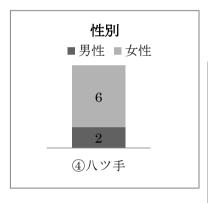
	65~69歳		75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
④八ツ手		1	2	3	2	8	2	6	8

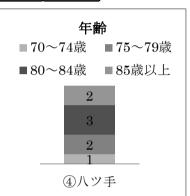
住まいの形態

	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
④八ツ手	6	1	1	8

自動車の運転

	運転する	運転しない	免許なし	合計
④八ツ手	5		3	8





住まいの形態 ■一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ それ以外 6 ④ 八ツ手

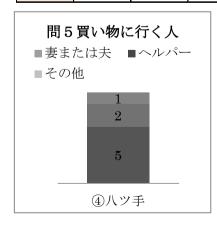
3) 買い物に関すること

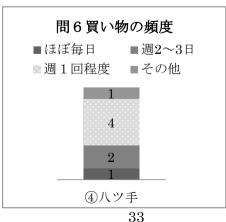
問5 買い物に行く人

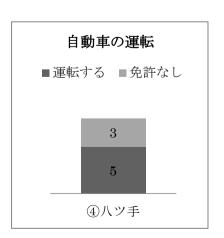
	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計	
④八ツ手	5		2		1			8

問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程度	その他	合計
④八ツ手	1		2	4	1	8







問7一番近い店の距離

	$1\sim 5\mathrm{km}$	5km以上	合計	近い店
④八ツ手	8		8	ツルヤ

一番近い店は福島のツルヤで、距離は 2.5~3.5 km。

問8一番近い店の利用

	利用している	利用していない	合計
④八ツ手	2	6	8

一番近い店を利用しない理由

			値段が高 いから	品揃えが 少ないか ら	営業時間 や営業時 間が合わ ないから	その他	合計	
(④八ツ手	1				5		6

問9 一番良く利用する店

	便だから	いから	6	悪いから	間が合わ ないから		ПП
.ツ手	1					5	6

その他の理由…

- 買い物がしにくい
- ・他の都合に合わせて店を決める
- ・宅配サービスを利用している
- ・広告を見て決めている

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセ ンター・ ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計
④八ツ手		7				1	8

Aコープ美すず店など、日によって店を変える回答者や、その他の理由で「行かない」という回答者 もいた。「食材は国産のものを選びたい」というこだわりを持つ回答もあった。

移動手段

	歩き	自転車	自ら自動 車・バイ クを運転		タクシー	バスか電 車	その他	合計	
④八ツ手			5	1	1		1		8

移動手段はいずれも自動車で、その他の回答は「行かない」。

4) 買い物支援サービス

問10 買い物支援サービスの内容とその満足度

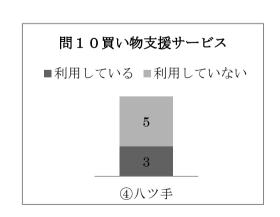
買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用していない	合計
④八ツ手	3	5	8

免許がない回答者はまごころ宅配などを利用している。

買い物支援サービスの内容 (複数回答)

		店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなど の支援	その他	合計	
④八ツ手	3						3



5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること

買い物状況

		不便を感 じていな い	不便を感じている	合計
(④八ツ手	5	3	8

買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

問11不便さを感じるか
■不便を感じている
■不便を感じていない
3 5
④八ツ手

	歩いて買 い物に行 くのがた いへん	いため、	具い物を 手伝って	車へ日転	お店まで の距離が 遠い	S - M.	車や自転車が多く危険	家族のかい と行きにいい いりない けない けない	その他	合計	
④八ツ手		1		1	3			1			6

間12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

	特になし	宅配サー ビス	お店への 送迎サー ビス	近くにお 店を誘致	移動販 売・移動 スーパー		の協力	介護ヘル パーなど の支援	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計	
④八ツ手	3	2		1	3	1			1	1	1:	2

移動販売を希望する回答が多かった。その他の回答では、「タクシー料金を低くしてもらいたい」 という意見があった。

問13 今後商店の必要性

	必要となる	必要とな らない	どちらと もいえな い	合計
④八ツ手	6	1	1	8

6) まとめ

酒井商店(野口区)という小さな個人商店があり、依頼すれば配達をしているが、用が足りない時があるようである。福島に店が立ち並ぶようになり、買い物には行きやすくなった。また、美篶へ抜けるいい道ができたので、美篶方面へ買い物に行きやすくなったようである。

問13商店の必要性■どちらともいえない
■必要とならない
■必要となる
1
1
6
④ハツ手

車を運転できる人は、近くても新しい店よりは行き慣れている店を選んでいる。また、免許のない回答者は宅配サービスを利用したり、家族に送迎をお願いしていて、直接的に困っている人はなかった。しかし、将来の不安から「昔のひまわり号(移動販売車)のようなものがあったら良い」「近くの公民館に販売車に来てもらいたい」という意見があり、店が近くにできるよりは、移動販売の希望者が多く見られた。

現存の社会資源を活かすことができれば、酒井商店は子どもも利用している地域の店であり、そこを拠点にするために交流スペースを作る、サロンを開催する、配達強化、お惣菜配達など、発展強化することが考えられるため、提案していく。

③西箕輪地区 ○与地区

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上		地区総世帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世 帯率 ※ 市 23.6%	調査世帯数	実回答数
⑤与地区	18	13	2	33	112	33.60%	29. 50%	7	7

2)調査対象者の基本情報

年齢、性別

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
⑤与地			1	5	1	7	2	5	7

住まいの形態

	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
⑤与地	6	1		7

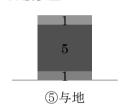
自動車の運転

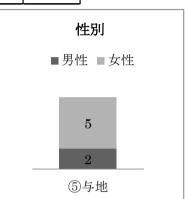
	運転する	運転しない	免許なし	合計
⑤与地	3		4	7

年齢

■75~79歳 ■80~84歳

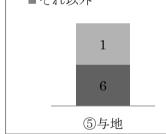
■85歳以上





住まいの形態

- ■一人暮らし■夫婦のみ
- ■それ以外



自動車の運転 ■運転する ■免許なし 4 3 ⑤与地

問5買い物に行く人 ■妻または夫■ヘルパー ■その他 2 ⑤与地

3) 買い物に関すること

問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計	
⑤与地	4		1		2			7

問6 買い物頻度

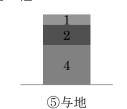
	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程度	その他	合計
⑤与地			4	2	1	7

問7一番近い店の距離

	$1\sim 5\mathrm{km}$	5km以上	合計	近い店
⑤与地		7	7	ニシザワ信大前食彩館5.5km

問6買い物の頻度 ■週2~3日 ■週1回程度

■その他



問8一番近い店の利用

	利用している	利用していない	合計
⑤与地	3	4	7

一番近い店を利用しない理由

	1	値段が高 いから		の財及か	営業時間 や営業時 間が合わ ないから	その他	合計	
⑤与地	1		1			2	4	4

その他の理由・・「量が多い」「行くことができない」

問9 一番良く利用する店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセ ンター・ ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計	
⑤与地		5				2	,	7

近くの信大前食彩館やベルシャイン、アピタ、Aコープ中央店などを利用していた。その他は宅配サービスを利用しているため「買い物に行かない」という回答だった。

移動手段

	歩き	自転車	自ら自動 車・バイ クを運転	家族等に よる自動 車送迎	タクシー	バスか電 車	その他	合計	
⑤与地			3	1			3		7

近所の親戚に送迎を頼んでいる回答者もいた。

4) 買い物支援サービス

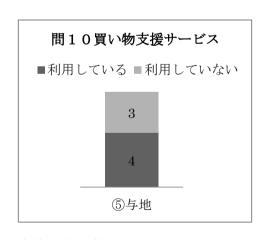
問10 買い物支援サービスの内容とその満足度

買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用していない	合計
⑤与地	4	3	7

買い物支援サービスの内容(複数回答)

	食品宅配 サービス	店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなど の支援	その他	合計
⑤与地	3		2			5



まごころ宅配や冷凍食品の宅配サービスや、ファミリーマートの移動販売を利用している。

5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること

買い物状況

	不便を感 じていな い	不便を感 じている	合計
⑤与地	6	1	7

買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

問13不便さを感じるか									
■不便を感じていない■不便を感じている									
1									
6									
⑤与地									

	歩いて買 い物に行 くのがた いへん	一度に少	貝い物を 手伝って くれる人	車や自転 車の運転 が不安	☆ 日亡☆# 2 シ	/ ·/ · · ·	シーの運	車や自転車が多く危険	家族の強 力がなきにいりいり がないた買行 はない	その他	合計
⑤与地								1		1	2

その他・・「おしゃれ着をどこで買えばいいかわかならい」

問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

	特になし	宅配サービス				が協力	ハーなと	その他	合計
⑤与地	5		1	1		1			8

不便さや不安感があまりなかったが、以前地域内にあった「竹屋」という商店があった時は便利 だった、という声は多く聞こえた。

問13 今後商店の必要性

	必要とな る	必要とな らない	どちらと もいえな い	合計
⑤与地	1	4	2	7

6) まとめ

免許を所持していたり、宅配サービスの利用で特に不便と感じている回答者は少なかった。また、近くに子どもや孫、親戚がいるため、将来運転できなくなることも不安に感じてはいなかった。

ファミリーマートの移動販売については全員が知っているが、利用している人は2名。近くに来てくれないと買いに行け

問13商店の必要性■ どちらともいえない
■ 必要とならない
■ 必要となる

2

4

⑤与地

ない、それだけでは用が足りないなどで、移動販売だけに頼る人はいなかった。また、市街地の色々な店で買い物し、飲食店での食事を楽しむ人が多くいた。

地縁が強い地域であるため、ご近所同士の助け合いをしている。しかし、人口や世帯が減っており、この先地区がなくなってしまうのではないかという不安を感じている回答者が多かった。

買い物支援に限らず、「まちの縁側づくり」のようなつながりの再構築ができないか調査をしていく。

④高遠町地区

①三義

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上	計	地区総世帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世 帯率※市 23.6%	調査世帯数	実回答数
⑥三義	37	25		62	137	43. 20%	45. 30%	11	9

2) 調査対象者の基本情報

年齢、性別

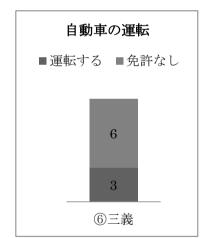
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
(⑥三義		1	7	1		9		9	ç

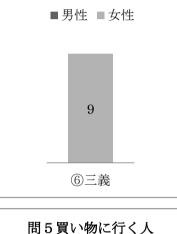
住まいの形態

	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計	
⑥三義	7	2		Ç)

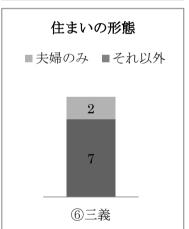
自動車の運転

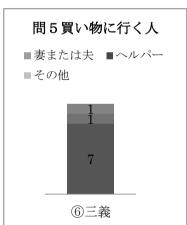
	運転する	運転しない	免許なし	合計
⑥三義	3		6	9





性別





3) 買い物に関すること

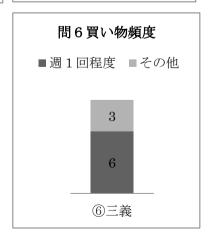
問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計	
⑥三義	7		1		1			9

問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程 度	その他	合計	
⑥三義				6	3		9

その他…「10日に1回」「通院の時のみ」「行かない」



問7一番近い店の距離

	$1\sim 5\mathrm{km}$	5 km以上	合計	一番近い店
⑥三義	5	4	9	長藤の元JA3.5~6 k r

問8一番近い店の利用

	利用している	利用していない	合計
⑥三義	1	8	9

一番近い店を利用しない理由

	移動が不便だから	値段が高 いから	少ないか	生鮮食品 の鮮度が 悪いから	営業時間 や営業時 間が合わ ないから	その他	合計	
⑥三義	4	1	3					8

三義から近い店は元 JA の長藤店だが、移動が不便、値段が高い、品揃えが少ないという理由で、ほとんどが利用していない。

問9 一番良く利用する店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニエンスストア	ホームセ ンター・ ドラッグ ストア	百貨店	その他	合計
⑥三義	1	8					9

利用している店は高遠食彩館、綿半という回答者がいた。個人商店は長藤店。

移動手段

	歩き	自転車	自ら自動 車・バイ クを運転	家族等に よる自動 車送迎	タクシー	バスか電 車	その他	合計	
⑥三義			3	2	1	1	2		9

その他の回答は「友人に頼む」「長藤店の送迎」であった。いきいき健康券を利用してタクシーやバスを利用する回答者もいた。

4) 買い物支援サービス

問10 買い物支援サービスの内容とその満足度

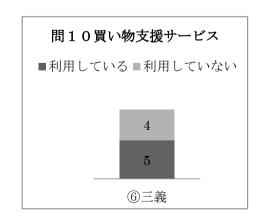
買い物支援サービスの利用状況

	利用している	利用していない	合計
⑥三義	5	4	9

買い物支援サービスの内容 (複数回答)

	食品宅配サービス	店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなど の支援	その他	合計
⑥三義	3	1	1		1	6

移動販売車が静岡から来ているが、利用している人は少ない。



5) 買い物環境について

間11 買い物で不便に感じていること

買い物状況

	不便を感じていない	不便を感じている	合計
⑥三義	4	5	9

半数以上が不便に感じている。

買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

問11不	問11不便さを感じるか								
■不便を感じている									
■不便	■不便を感じていない								
	5								
4									
⑥三義									

	い物に行くのがた	一度に少	子伝ろしくれる人	車や自転 車の運転 が不安	バス・鉄 道が不便	担・タクシーの運	車や自転車が多く危険	家族の強 力がなわ と行きに い物に行 けない	その他	合計
⑥三義	1	2		1	3			1		8

バスを乗り継がないと商店街に行くことができないため、バス移動が不便という回答があった。

問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

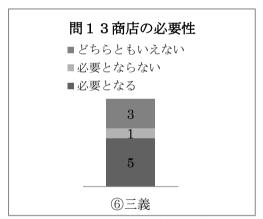
	特になし	宅配サービス	お店への 送迎サー ビス	近くにお 店を誘致	移動販 売・移動 スーパー	家族の協 力	近隣住民 の協力	介護ヘル パーなど の支援	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計
⑥三義	1	1	2		2	4	1		3		14

問13 今後商店の必要性

	必要とな る	必要とな らない	どちらと もいえな い	合計
⑥三義	5	1	3	9

6) まとめ

山添いに集落が分かれている過疎地で、買い物は主に高遠 食彩館へ自分の車や家族・友人の送迎で行く。また、宅配サ ービスではまごころ宅配や生協を利用している。買い物以外 にも、通院を不便と感じている回答者が多く、バスで行く場 合は何度は乗り継ばない。とまか原すで辿り着はない。またの



合は何度も乗り継がないと主治医まで辿り着けない。おのりな号は月に4回までという制約がある ため使いにくいという意見があった。

一番近くの店までも距離があり、ちょっとした物でもすぐに買いに行けないという不便さは約半数が感じていて、希望するサービスは宅配サービスや移動販売、バス・タクシーの充実など様々であった。また、移動販売などで賑わいながら買い物をしたいというような、つながりを求めるような声も聞こえた。

地域性もあり、密着しすぎない程度のつながりが持てる福祉的な拠点が必要と考える。遠照寺などがすでに住民の拠点となっており、移動販売などの複数の機能を持たすことができないか。

買い物や通院の不便さという現在の課題が顕著に出ている地域で、問題意識のある地域住民に提 案していく必要があるかと思われる。

○藤沢

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上	計	地区総世 帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世 帯率※市 23.6%	調査世帯数	実回答数
台殿・北原								7	6
荒町・水上								6	5
御堂垣外	74	69	3	146	358	46.00%	40.80%	7	7
松倉								2	2
片倉								7	7
合計									27

2) 調査対象者の基本情報

年齢

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計		
⑦台殿・北原			1	2	3	6		
⑧荒町・水上				3	2	5		
⑨御堂垣外			1	2	4	7		
⑩松倉				2		2		
⑪片倉			2	1	4	7		
合計			4	10	13	27		

性別

	男性	女性	合計
⑦台殿・北原	2	4	6
⑧荒町・水上	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉		2	2
①片倉	2	5	7
	5	22	27

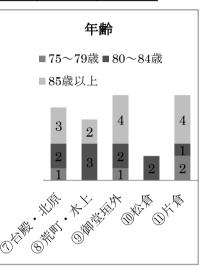
性別 ■ 男性 ■ 女性 4 4 7 5 2 1 2 2

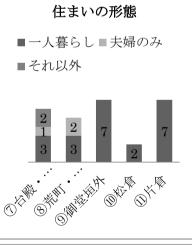
住まいの形態

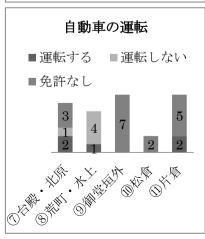
	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
⑦台殿・北原	3	1	2	6
⑧荒町・水上	3	2		5
⑨御堂垣外	7			7
⑩松倉	2			2
⑪片倉	7			7
合計	22	3	2	27

自動車の運転

	運転する	運転しない	免許なし	合計
⑦台殿・北原	2	1	3	6
⑧荒町・水上	1	4		5
⑨御堂垣外			7	7
⑩松倉			2	2
11)片倉	2	·	5	7
合計	5	5	17	27







3) 買い物に関すること

問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サー ビス	その他	合計
⑦台殿・北原	3		2		1		6
⑧荒町・水上	2	1	2				5
⑨御堂垣外	2				5		7
⑩松倉	1				1		2
⑪片倉	4	·			3		7
合計	12	1	4		10		27

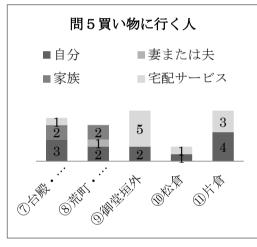
家族または宅配 サービスの利用で 食材などを得てい る回答者が半数を 超えた。

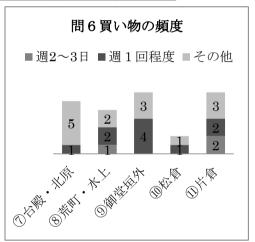
問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程度	その他	合計
⑦台殿・北原				1	5	6
⑧荒町・水上			1	2	2	5
⑨御堂垣外				4	3	7
⑩松倉				1	1	2
①片倉			2	2	3	7
合計			3	10	14	27

その他・・

- ・「行かない」
- ・「月に1回」
- ・「月に2回」





問7一番近い店の距離

	$1\sim 5\mathrm{km}$	5km以上	合計	一番近い店
⑦台殿・北原	6		6	長藤の元JA3.7~4.7km、叶屋
⑧荒町・水上	3	2	5	長藤の元JA 4.4~5.6km 叶屋
⑨御堂垣外		7	7	長藤の元JA 7.2~8 k m
⑩松倉		2	2	長藤の元JA 9.7km
⑪片倉		7	7	長藤の元JA 9.8km
合計	9	18	27	

問8一番近い店の利用

	利用して いる	利用して いない	合計
⑦台殿・北原		6	6
⑧荒町・水上	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉	1	1	2
⑪片倉	3	4	7
合計	5	22	27

長藤店を利用している回答者は、 送迎バスを併せて利用している。

一番近い店を利用しない理由

		値段が高 いから		生鮮食品の 鮮度が悪い から	営業時間 や営業時間が合わないから	その他	合計	
⑦台殿・北原			6					6
⑧荒町・水上	3			1				4
⑨御堂垣外	6	1						7
⑩松倉	1							1
①片倉	1	2	1					4
合計	11	3	7	1			4	22

問9 一番良く利用する店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセン ター・ド ラッグスト ア	百貨店	その他	合計
⑦台殿・北原	2	4					6
⑧荒町・水上	2	3					5
⑨御堂垣外	1	6					7
⑩松倉	1					1	2
①片倉	1	6					7
合計	7	19				1	27

個人商店は「叶屋」 「長藤店」。 その他の意見は 「行かない」という 回答だった。

移動手段

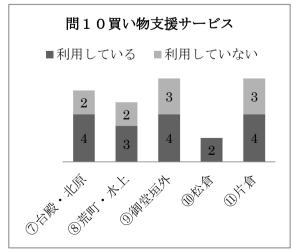
	歩き	自転車	車・バイ	家族等によ る自動車送 迎	hhs.	バスか電 車	その他	合計
⑦台殿・北原	2		1	3				6
⑧荒町・水上				4			1	5
⑨御堂垣外				3		2	2	7
⑩松倉							2	2
①片倉			2	4		1		7
合計	2		3	14		3	5	27

その他の意見では、「長藤店の送迎」「近隣の人にお願いする」「行かない」などが挙げられた。自 ら運転できる人や、家族等による送迎で買い物をしている人は、伊那市街地や茅野のスーパーを利用し ている。

4) 買い物支援サービス

問10 買い物支援サービスの内容とその満足度 買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用して いない	合計
⑦台殿・北原	4	2	6
⑧荒町・水上	3	2	5
⑨御堂垣外	4	3	7
⑩松倉	2		2
11)片倉	4	3	7
合計	17	10	27



買い物支援サービスの内容(複数回答)

74751927		rt:4±。 の	移動販売車	介護ヘル パーなどの 支援	その他	合計
⑦台殿・北原	3		1			4
⑧荒町・水上	2	2				4
⑨御堂垣外	4					4
⑩松倉	1	1				2
①片倉	3	1	2			6
合計	13	4	3			20

半数以上が宅配サービスや移動販売を利用している。店舗への送迎サービスは、長藤店のバスの送迎 である。

問11不便さを感じるか

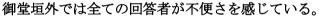
■不便を感じている

■不便を感じていない

5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること 買い物状況

	不便を感 じていな い	不便を感 じている	合計
⑦台殿・北原	4	2	6
⑧荒町・水上	1	4	5
⑨御堂垣外		7	7
⑩松倉		2	2
①片倉	5	2	7
合計	10	17	27



買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)

貝(物)	貝が物で小便に感じていること(該ヨ9分ものまつまで)											
	歩いて胃	重いもの がたため、 一度しかがい 量しかがい きない	買い物を 手伝って くれる人 がいない	車や自転車の運転が不安	□□前提3.28			車や自転車が多く危険	家族の強 力がない と行きに買い物に い物に けない	その他	습計	その他
⑦台殿・北原		1			1					1	3	新鮮な魚が食べられ ない
⑧荒町・水上	2				3			1	2	1	9	元JAは物が少ない・ 高い
⑨御堂垣外	7	6	2		5						20	
⑩松倉		1			1					2	4	こまめに (すぐに) 買い物ができない
⑪片倉	1				1				2	1	5	足りない時にこまる
合計	10	8	2		11			1	4	5	41	

間12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

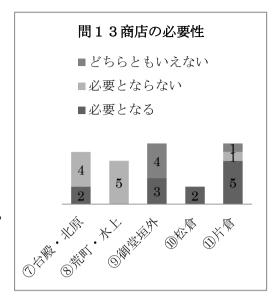
11.9 = - /											
	特になし	宅配サービス	お店への 送迎サー ビス	近くにお店 を誘致	移動販 売・移動 スーパー	家族の協 力	近隣住民 の協力	介護ヘル パーなど の支援	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計
⑦台殿・北原	2		1	2	2	1					8
⑧荒町・水上	1		2	1	2						6
⑨御堂垣外	1	2	2	1	3		1				10
⑩松倉	2			2							4
⑪片倉				4	1		1	1			7
合計	6	2	5	10	8	1	2	1			35

不便さを感じている回答者が半数以上いる中で、送迎サービスや店の誘致、移動販売を希望する回答 が多かった。

問13 今後商店の必要性

	必要となる	必要とな らない	どちらと もいえな い	合計
⑦台殿・北原	2	4		6
⑧荒町・水上		5		5
⑨御堂垣外	3		4	7
⑩松倉	2			2
①片倉	5	1	1	7
合計	12	10	5	27

店までの距離に不便さを感じながら、「近くの店ができても また潰れてしまう」という諦めが回答者から伺えた。



6) まとめ

北原にある個人商店「叶屋」が開店しており、宅配をしているので利用している回答者もいた。 ただ、「叶屋」までの距離でも歩いて行けない、値段が高い等の声があがった。

長藤にある元 JA の商店は、現在個人が委託を受け運営しており、送迎バスも週2日運行しているが、利用客は少ないようだ。品揃えが悪い、値段が高い、パックの量が多いなどで、利用する回答者は少ないが、払い戻しができ、唯一生鮮食品を買える店であるため、利用する地域住民もいるようだった。また、店内のテーブルで利用客にお茶を出している。

自家用車がある、もしくは子どもなど家族の支援で買い物できる人は、高遠食彩館や伊那市街地、 茅野市のスーパーで買い物をしている。それ以外の回答者は、生協やまごころ宅配を利用している。 「叶屋」や長藤店は補足的に利用しているようだった。買いたいものをすぐに買えない、などの不 便さを半数以上が感じていた。

買い物以外の回答では、「買い物よりも通院が困っている」という声や、地域社協がない地域では特にサロン活動などがないため、「話し相手がほしい」という声も挙がった。ご近所同士の助け合いはあるが、空き家が多くなっていることや、子どもがいないことに触れ、地域の将来を不安に感じる回答者が多くいた。

車に乗ることができなくなった場合に、「叶屋」や長藤店は地元の重要な商店であり、不満はあるが残したいという声が聞こえた。高遠町は行政区が細かく分かれており、違う行政区にまたがっている個人商店に対して「地元の店」という意識が強くない。買い物のような行政区で割り切れない課題の場合、課題解決の主体はどこにあるのかが高遠町全体の課題である。今までは個人商店として切り捨てていたが、今後は全体の課題として取り組まなければならないと考える。

長藤店の有効活用や発展強化ができないか、問題提起していく。

⑤長谷地区 ○黒河内区、市野瀬区

1) 地区の現状

地区	ひとり	2人	3人以上	計	地区総世 帯数	高齢化率 ※市 27.9%	高齢者世 帯率※市 23.6%	調査世帯数	実回答数
黒河内	7	12		19	60	39. 20%	31. 70%	4	4
市野瀬	19	23		42	92	47. 10%	45. 70%	8	8

2) 調査対象者の基本情報

年齢、性別

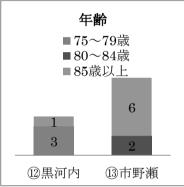
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	合計	男性	女性	合計
12黑河内			3		1	4	1	3	4
① 市野瀬				2	6	8	4	4	8
合計			3	2	7	12	5	7	12

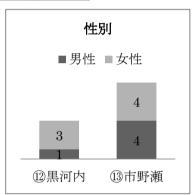
住まいの形態

	一人暮らし	夫婦のみ	それ以外	合計
迎黒河内		4		4
①市野瀬	4	3	1	8
合計	4	7	1	12

自動車の運転

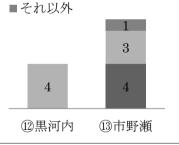
	運転する	運転しない	免許なし	合計
⑫黒河内	4			4
13市野瀬		2	6	8
合計	4	2	6	12

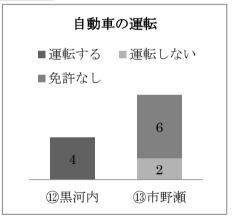


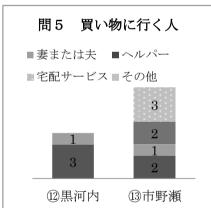


住まいの形態

■一人暮らし■夫婦のみ







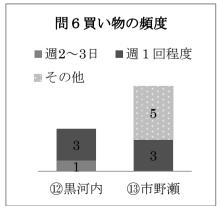
問5 買い物に行く人

	自分	妻または 夫	家族	ヘルパー	宅配サービス	その他	合計
迎黒河内	3	1					4
13市野瀬	2	1	2		3		8
合計	5	2	2		3		12

問6 買い物頻度

	ほぼ毎日	週4~5日	週2~3日	週1回程度	その他	合計
迎黒河内			1	3		4
③市野瀬				3	5	8
合計			1	6	5	12

その他…「出かけない」「動けない」「月に1回」



問7一番近い店の距離

	5km以上	合計	_	番近い店
⑫黒河内	4	4	高遠食彩館	7.4~8.4 k m
①市野瀬	8	8	高遠食彩館	12. 3 k m ∼14. 8 k m
合計	12	12		_

問8一番近い店の利用

	利用している	利用していない	合計
迎黒河内	4		4
①市野瀬	4	4	8
合計	8	4	12

一番近い店を利用しない理由

	移動が不便だから	***	1/1 1H+ 1H 1 55 (/)	その他	合計
⑫黒河内					0
③市野瀬				4	4
合計				4	4

利用しない理由・・

- ・「病院が伊那だから」
- ・「出かけない」

問9 一番良く利用する店

	個人商店	スー パー・ ショッピ ングセン ター	コンビニ エンスス トア	ホームセン ター・ド ラッグスト ア	百貨店	その他	合計
⑫黒河内		4					4
③市野瀬	·	6	·			2	8
合計		10				2	12

高遠食彩館やベルシャイン、綿半等へ買い物に出かけている。

移動手段

	歩き	自転車	車・バイ	家族等によ る自動車送 迎		バスか電 車	その他	合計
⑫黒河内			4					4
③市野瀬			1	4	1		2	8
合計			5	4	1		2	12

4) 買い物支援サービス

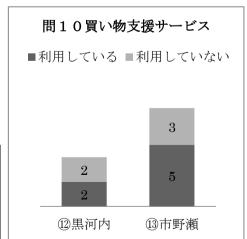
問10 買い物支援サービスの内容とその満足度

買い物支援サービスの利用状況

	利用して いる	利用して いない	合計
⑫黒河内	2	2	4
①市野瀬	5	3	8
合計	7	5	12

買い物支援サービスの内容(複数回答)

	食品宅配 サービス	店舗への 送迎サー ビス	移動販売 車	介護ヘル パーなどの 支援	その他	合計
⑫黒河内	2					2
① 市野瀬	3		2			5
合計	5		2			7



宅配サービスは、生協やまごころ宅配を利用している。移動販売は静岡から来ている。

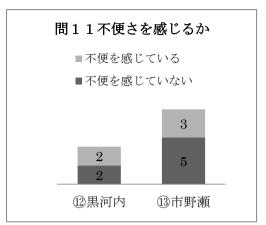
5) 買い物環境について

問11 買い物で不便に感じていること

買い物状況

	不便を感 じていな い	不便を感 じている	合計
⑫黒河内	2	2	4
① 市野瀬	5	3	8
合計	7	5	12

買い物で不便に感じていること (該当するもの3つまで)



	少いに見い物に行くのがた	重がたたりでするない。一量いちではいかがいた。しかがいまない。	手伝ってくれる人	車や自転車 の運転が不 安	お店まで の距離が 遠い	バス・鉄 道が不便	車や自転車が多く危険	家族の強 力がおきたい時ににいいない けない	その他	습計
⑫黒河内				1	1	1				3
③市野瀬	2	1			1	1		2	1	8
合計	2	1		1	2	2		2	1	11

問12 買い物環境改善に必要なこと(複数回答)

	佐田 にててき	お店への 送迎サー ビス	近くにお店 を誘致	移動販 売・移動 スーパー	家族の協 力	近隣住民 の協力	ハーなと	バス・タ クシー等 の充実	その他	合計
⑫黒河内		2		2			1	1		6
③市野瀬	3	1	1	2		1		1		ç
合計	3	3	1	4		1	1	2		14

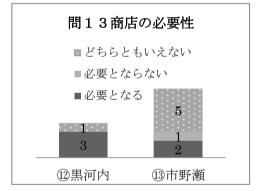
移動販売を求める声が多くあった。

問13 今後商店の必要性

	必要とな る	必要とな らない	どちらと もいえな い	合計
⑫黒河内	3		1	4
①市野瀬	2	1	5	8
合計	5	1	6	12

6) まとめ

もともと不便な土地であり、子どもなどに送迎を依頼した



り、宅配サービスを利用しているため、買い物に不便さを感じている方は多くなかった。以前は地域内にも農協や魚屋など個人商店があったが、現在は市野瀬の「紙屋」という個人酒店に調味料などが置いてある。静岡から移動販売車が来ているが、利用者は限定されている。

身体的に長距離を歩くことができないため「地域内に店ができたり移動販売が来ても、近くないと行けない」という意見があったが、中には「いなまち再生やるじゃんかいに来て欲しい」「みんなとおしゃべりしながら買い物ができるようなものがあればいい。(移動販売車であったり、近所でグループを作って乗合で買い物に行ったりとか)」という希望するサービスが挙がった。

また、「毎日寂しい」「誰かと話したい」というつながりを求める声もあった。「つながり」を キーワードとして、地域の特性を活かし、移動販売とサロン活動を掛け合わせたような活動ができ ないか、地域に提案していきたい。

はじめに、あなた自身のことについてお聞きします。 問 1 年齢はおいくつですか? (1つ選んで番号に〇をしてください) 買い物環境等に関するアンケート調査 2. 70~74歳 3. 75~79歳 1. 65~69歳 4. 80~84歳 5. 85 歳以上 伊那市社会福祉協議会 間2 性別はどちらですか? (1つ選んで番号に〇をしてください) 2. 女性 1. 男性 問3 どなたとお住まいですか? (1つ選んで番号にOをしてください) 調査地区 1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. それ以外 お名前 間4 自動車の運転はされますか? (1つ選んで番号に〇をしてください) 調杏日時 1 運転する 担当 2. 運転免許は持っているが、できるだけ運転しないようにしている 3. 運転免許を持っていない 問8 問7で回答された"一番近いお店"についてお聞きします。そのお店を つぎに、食料品等の買物についてお聞きします。 一番よく利用されていますか?利用されていない場合は、その理由を教 えてください。(1 つ選んでOをしてください) 問 5 普段、肉や野菜などの生鮮食料品は、主にどなたが買いに行きますか? (1 つ選んで番号に〇をしてください) 1. 利用している 2. 利用していない

 1. 自分
 2. 妻または夫
 3. 家族

 4. ヘルパー
 5. 宅配サービスを利用

 6. その他(
)

 間6 普段の買物でお出かけになる回数はどのくらいですか? (1つ選んで番号に〇をしてください)

 1. ほぼ毎日
 2. 週4~5回
 3. 週2~3回

 4. 週1回程度
 5. その他(
)

3. 品揃えが少ないから 4. 生鮮食品の鮮度が悪いから

1. 移動が不便だから 2. 値段が高いから

1. 個人商店 2. スーパー・ショッピングセンター 3. コンピニエンスストア 4. ホームセンター・ドラッグストア 5. 百貨店 6. その他()

[基準値] ・徒歩10分で500m (km・m)

1. 歩き 2. 自転車 3. 自ら自動車・パイクを運転 4. 家族等による自動車送迎 5. タクシー ⇒ (片道の料金額 円) 6. パスが電車⇒ (片道の料金額 円) 7. その他 ()

問 10 現在、買物支援サービスを利用されていますか?利用されている場合は その内容と満足度を教えてください。(よく利用するもの2つまで、支援 サービスの内容と満足度を選んでください。)

有利無用	1.	利用している			2.	利用し	してい	ない		
支援	1.	食品宅配サービス		2.	店台	捕への送	返サ	ービス		
支援サービス①	3.	移動販売車		4.	介語	養ヘルハ	パーな	どの支援		
えの	5.	その他()	
満足	1.	満足	2.	やや満	足		3.	ふつう		
満足度①	4.	やや不満	5.	不満						
支經	1.	食品宅配サービス		2.	店舍	浦への送	迎サ	ービス		
支援サービス②	3.	移動販売車		4.	介言	隻ヘルバ	パーな	どの支援		
マ 2	5.	その他()	
満足	1.	満足	2.	やや満	足		3.	ふつう		
満足度②	4.	やや不満	5.	不満						

間 11 生鮮食料品等の買物において、不便に感じていることはありますか?あ る場合はその内容を教えてください。(次ページに示す内容のうち、該当 する内容を3つまでOをしてください)

不便	1. 不便を感じていない	2. 不便を感じている
		※次ページに続きます

1. 歩いて買物に行くのが大変

2. 重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない

3. 買物を手伝ってくれる人がいない

4. 車や自転車の運転に不安 5. お店までの距離が遠い

6. バス・鉄道が不便 7. バス・鉄道・タクシーの運賃が高い

8. 車や自転車が多く危険

9. 家族の協力がないと行きたいときに買物できない

10. その他(

内

容

問 12 買物環境をより良くするために、何が必要と考えますか? (重要と思わ れるもの2つまでOをしてください)

1. 特になし

2. 宅配サービス

3. お店への送迎サービス 4. 近くにお店を誘致

5. 移動販売・移動スーパー 6. 家族の協力

7. 近隣住民の協力

8. 介護ヘルパーなどの支援

9. バス、タクシー等の充実

10. その他(

問 13 今後、あなたが生鮮食料品を買物する場として、近くの商店街が必要に なると考えますか? (1 つ選んでOをしてください)

1. 必要となる

2. 必要とならない

3. どちらともいえない

つぎに、普段の食事についてお聞きします。

問 14 つぎにあげる食品群などを週何日くらい食べていますか? (1つ選んで 番号に〇をしてください)

護・・・ 魚、貝	し、イカ、エビ、か	まほこ、魚	肉ソーセージな	18	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
・・・牛肉、豚	肉、鶏肉、ハム、	ソーセージ	など		
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
・・・牛乳、チ	ーズ、ヨーグルト	など	-	2000	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
・・・大豆、豆	腐、油揚げ、納豆				
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週1~2回	4.	ほとんど食べない
質・・・にんじ	ん、キャベツ、ト	マト、たま	ねぎ、大根など		
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
質・・・わかめ	、ひじきなど			A 325	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
質・・・さつま	いも、じゃがいも	、長芋など		3503	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週1~2回	4.	ほとんど食べない
夏・・・いちご	、パナナ、みかん	、りんごな	٤		
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週1~2回	4.	ほとんど食べない
頁・・・油炒め	、てんぷら、フラ	イ、バター	など油が含まれ	るもの	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週1~2回	4.	ほとんど食べない
ち冷凍食品				41526	
ほぼ毎日	2. 2日に1回	3.	週 1~2 回	4.	ほとんど食べない
食べる缶詰、	冷凍食品を教えて	ください。		14 3 7 15	
	ほぼ毎日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ほぼ毎日 2. 2日に1回	ほぼ毎日 2. 2日に1回 3. ・・・牛肉、豚肉、鶏肉、ハム、ソーセージ ほぼ毎日 2. 2日に1回 3. ほぼ毎日 2. 2日に1回 3. ・・・牛乳、チーズ、ヨーグルトなど ほぼ毎日 2. 2日に1回 3. ・・・大豆、豆腐、油揚げ、納豆 ほぼ毎日 2. 2日に1回 3.	ほぼ毎日 2. 2日に1回 3. 週1~2回 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Fifth Fi

最後に、買物環境について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書 き下さい。

G	
eg.	

調査にご協力いただき、ありがとうございました。